

# 第3次大船渡市環境基本計画

令和5年2月  
大船渡市

## 目次

第1章 計画の基本的事項	4
1-1 計画策定の趣旨	4
1-2 環境に関する国内外の動向	5
1-3 計画の役割と位置付け	7
1-4 計画期間と対象地域	10
1-5 計画の構成	10
第2章 本市を取り巻く環境の現況	12
2-1 本市の概況	12
2-2 第2次大船渡市環境基本計画の検証	16
2-3 市民・事業所アンケート調査結果	25
第3章 望ましい環境像と施策の体系	32
3-1 望ましい環境像	32
3-2 施策の推進に向けた分野横断的な視点	32
3-3 基本目標と施策の体系	32
3-4 SDGsとの関連	34
第4章 環境分野の施策の展開	37
基本目標1 気候変動に対応した持続可能なまちをめざします	37
基本目標2 生活環境が良好な安心して暮らし続けられるまちをめざします	40
基本目標3 生物多様性を確保し人と自然が共生できるまちをめざします	48
基本目標4 地球環境に配慮したきれいで資源が循環していくまちをめざします	52
基本目標5 協働による環境保全に取り組むまちをめざします	57
第5章 環境についての行動指針	63
第6章 計画の推進・進行管理	71
6-1 推進体制	71
6-2 計画の進行管理	72
—資料編—	
○大船渡市環境基本条例	75
○計画策定までの経緯	80
○市民・事業所アンケート調査結果	82
○第2次大船渡市環境基本計画の達成目標の結果	101
○用語集	103

# 第 1 章 計画の基本的事項

# 第1章 計画の基本的事項

## 1-1 計画策定の趣旨

本市では、環境の保全及び創造について、基本理念、市民、事業者及び市の責務、施策の基本となる事項などを定めた大船渡市環境基本条例を平成13(2001)年4月に施行し、この条例の基本理念を実現するため平成15(2003)年3月に「大船渡市環境基本計画」を策定しました。その後、平成25(2013)年3月に平成25年度から令和4年度までを計画期間とする「第2次大船渡市環境基本計画」(以下「第2次計画」という。)を策定し、各種環境施策に取り組んできました。

第2次計画では、「自然と調和し よりよい環境を 未来につなぐまち 大船渡」を望ましい環境像と定め、澄んだ空気や恵み豊かな水の環境などを良好に保つ生活環境の保全、多様な生物からなる生態系の保全や景観の整備、里地・里山・里海を活用した自然との調和、ごみ減量化、資源リサイクル、省エネルギーの取組等による地球環境に配慮した環境共生型の暮らしの実現に努めたほか、環境への理解と意識を高めるための環境教育や環境保全活動に取り組んできました。

第2次計画策定後、環境を取り巻く状況は刻々と変化してきており、人々のライフスタイルの変化や、大量生産・大量消費・大量廃棄といった社会経済活動の拡大に伴い、温室効果ガスの排出による地球温暖化の進行や廃棄物の増加など、環境負荷の増大が懸念されています。

第3次大船渡市環境基本計画は、第2次計画の計画期間が終了することから、同計画の検証結果と地球温暖化による気候変動など第2次計画策定後により顕著となってきた環境問題を踏まえ、本市の優れた環境を次世代へ継承するための長期的な目標と施策の方向などを示し、市民、事業者、市が一体となってこれまでの取組を継続・発展させながら総合的かつ計画的に各種施策を推進するために策定するものです。

## 1-2 環境に関する国内外の動向

環境に関する国内外の動向を、以下のとおりまとめました。

本市においても、これら社会情勢の変化に対応しながら取り組んでいく必要があります。

### (1) 国際的な動向

キーワード	概要
SDGs（持続可能な開発目標）	・2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17のゴールと169のターゲットから構成されている
パリ協定	・気候変動に関する法的拘束力のある国際的な合意文書 ・世界共通の長期目標として産業革命前からの平均気温の上昇を2℃より下方に保持するとともに、1.5℃以下に抑える努力の追求を明示
海洋ごみ問題	・海洋ごみ（漂流・漂着・海底ごみ）は、自然生態系を含めた海洋環境の悪化や景観への悪影響等、様々な問題を引き起こしている ・生物のマイクロプラスチックの誤食による海洋生態系への影響の懸念
生物多様性	・国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で、2030年までの生態系保全の国際目標（23の個別目標）を採択

### (2) 国の動向

キーワード	概要
第五次環境基本計画	・SDGsの考え方も活用し、環境・経済・社会の統合的向上を具体化する ・地域資源等を持続可能な形で最大限活用し、各地域が自立・分散型の社会を形成し、地域資源等を補完し支え合う「地域循環共生圏」の創造を目指す ・幅広い関係者とのパートナーシップを充実・強化し、「持続可能な循環共生型の社会」を目指す ・2018年4月閣議決定
「2050年カーボンニュートラル」宣言と地球温暖化対策計画	・2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする宣言 ・地球温暖化対策計画では、温室効果ガスの2030年度の削減目標を2013年度比46%削減としており、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明 ・計画期間は閣議決定日（2021年10月22日）から2030年度末まで
気候変動適応計画	・気候変動による被害の防止・軽減、国民の生活の安定、社会・経済の健全な発展、自然環境の保全及び国土の強靱化を図り、安全・安心で持続可能な社会を構築することを目指す ・2021年10月閣議決定
生物多様性国家戦略2012-2020	・今後の自然共生社会の在り方を示す基本戦略を設定 ・2020年から次期生物多様性国家戦略の策定に向けた検討を開始
プラスチック資源循環戦略	・3R+Renewable <sup>※</sup> （再生可能な資源）を基本原則とし、重点対策にプラスチック資源循環、海洋プラスチック対策等を掲げている ・2019年5月策定 ※3R+Renewable：3R（リデュース、リユース、リサイクル）に、プラスチック製品の原料を、バイオマスプラスチック等の再生可能な資源に切り替える「リニューアブル」を加えること

キーワード	概要
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	・製品の設計からプラスチック廃棄物の処理までに関わる全ての事業者、自治体、消費者の相互連携により、プラスチックの資源循環を促進させる（2022年4月施行）
食品ロスの削減の推進に関する法律	・国、地方公共団体、事業者、消費者等が連携し、国民運動として食品ロス削減に取り組む（2019年10月施行） ※食品ロス：食べ残し、賞味期限切れなど様々な理由で、食べられるのに廃棄される食品

### （3）岩手県の動向

キーワード	概要
岩手県環境基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・経済・社会の一体的向上に向けた横断的施策と、県の環境の保全及び創造を実現する基本的施策としての環境分野別施策で構成</li> <li>・計画期間は令和3（2021）年度から令和12（2030）年度まで</li> <li>・2021年3月策定</li> <li>「横断的施策」</li> <li>・地域資源の活用による環境と経済の好循環</li> <li>・自然と共生した持続可能な県土づくり</li> <li>・環境にやさしく健康で心豊かな暮らしの実現</li> <li>「環境分野別施策」</li> <li>・気候変動対策</li> <li>・循環型地域社会の形成</li> <li>・生物多様性の保全・自然との共生</li> <li>・環境リスクの管理</li> <li>・持続可能な社会づくりの担い手の育成と協働活動の推進</li> </ul>

### (1) 計画の役割

本計画は、大船渡市環境基本条例第8条に基づき策定するものであり、同条例第3条に掲げる以下の五つの基本理念の実現に向けて中心的な役割を担います。

#### 【環境基本条例の基本理念】

- 第3条 環境の保全及び創造は、市民が大船渡の豊かな自然の中で生活していることを認識し、恵み豊かな環境と共生する地域社会を構築することを目的として行われなければならない。
- 2 環境の保全及び創造は、恵まれた快適な環境が確保され、これを将来の世代に継承できるように行われなければならない。
- 3 環境の保全及び創造は、環境への負荷の少ない健全かつ持続的な発展が可能な地域社会を構築できるように行われなければならない。
- 4 環境の保全及び創造は、地域社会を構成するすべての者の自主的かつ積極的な参加及び連携により行われなければならない。
- 5 地球環境保全は、地域の環境が地球環境に深くかかわっていることをすべての者が認識し、あらゆる事業活動及び日常生活において積極的行われなければならない。

## (2) 市民、事業者、市の責務

大船渡市環境基本条例では、市民、事業者、市のそれぞれの責務が以下のとおり定められています。

本計画の実現に向け、市民、事業者、市の各主体がそれぞれの役割を果たしながら、連携、協力して、環境の保全及び創造に関する施策に取り組むこととします。

### ア 市民の責務

第4条 市民は、その日常生活と環境のかかわりあいを認識し、環境への負荷を低減するように努めなければならない。

2 前項に定めるもののほか、市民は、環境の保全及び創造に自ら努めるとともに、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する責務を有する。

### イ 事業者の責務

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、これに伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講ずるとともに、これに伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。

2 前項に定めるもののほか、事業者は、その事業活動に関し、環境の保全及び創造に自ら努めるとともに、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する責務を有する。

### ウ 市の責務

第6条 市は、環境の保全及び創造に関する基本的かつ総合的な施策を策定し、及びこれを実施する責務を有する。

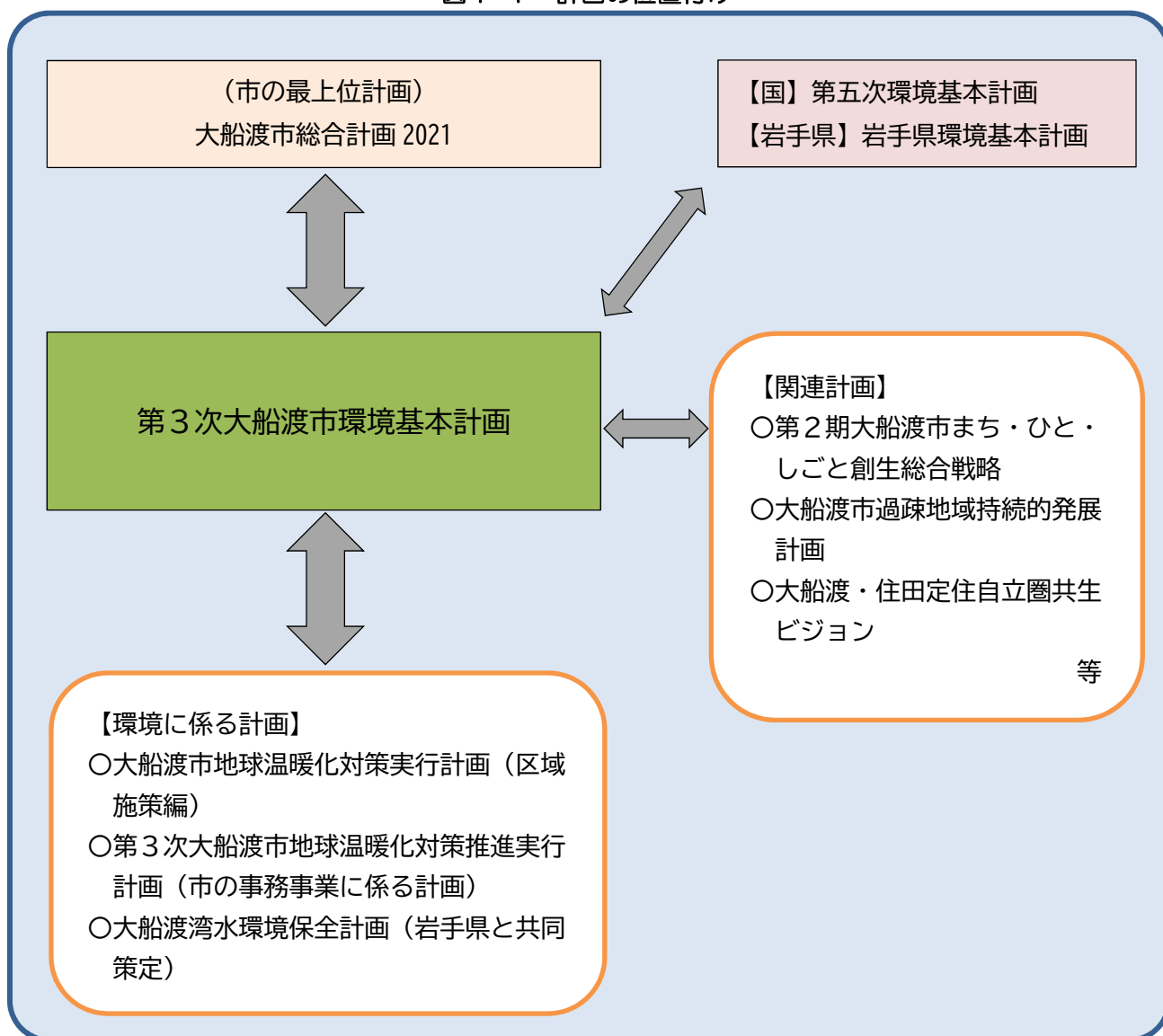


### (3) 計画の位置付け

本計画は、市の最上位計画である「大船渡市総合計画 2021」（令和3（2021）年度～12（2030）年度）を環境分野から実現していくための基本となる計画です。

国・県の環境基本計画等と整合を図りながら本計画による施策を推進することで、市の将来都市像「ともに創る やすらぎに包まれ 活気あふれる 三陸のにぎわい拠点 大船渡」の実現を目指します（図1-1）。

図1-1 計画の位置付け



※ $\longleftrightarrow$  は、相互に整合を図ることを示します。

## 1-4 計画期間と対象地域

### (1) 計画期間

本計画の期間は、令和5（2023）年度から令和14（2032）年度までの10年間とします。なお、社会状況の変化に対応するため、必要に応じて計画の見直しを行います。

### (2) 対象地域

本計画が対象とする地域は、大船渡市全域です。また、広域的な取組の必要性から、近隣市町や関係団体との連携も考慮します。

## 1-5 計画の構成

本計画の構成は、以下のとおりとなります。

### 【第1章】計画の基本的事項

趣旨、国内外の動向、役割と位置付け、計画期間と対象地域、構成



### 【第2章】本市を取り巻く環境の現況

概況、第2次計画の検証、市民・事業所アンケート調査結果



### 【第3章】望ましい環境像と施策の体系

望ましい環境像、分野横断的な視点、基本目標と施策の体系、SDGsとの関連



### 【第4章】環境分野の施策の展開

施策の達成目標、施策の方針と取組



### 【第5章】環境についての行動指針

市民・事業者の行動指針



### 【第6章】計画の推進・進行管理

推進体制、進行管理

## 第2章 本市を取り巻く環境の現況

# 第2章 本市を取り巻く環境の現況

## 2-1 本市の概況

### (1) 地形

本市は、岩手県の南東部に位置し、景観に優れた三陸復興国立公園碓石海岸、五葉山県立自然公園や、大船渡湾、門之浜湾、綾里湾、越喜来湾及び吉浜湾を有しています。

また、湾の背後には丘陵地や山岳地が形成され、その間を盛川や吉浜川等が流れる「海」と「身近な緑と水辺」の自然に恵まれたまちです。

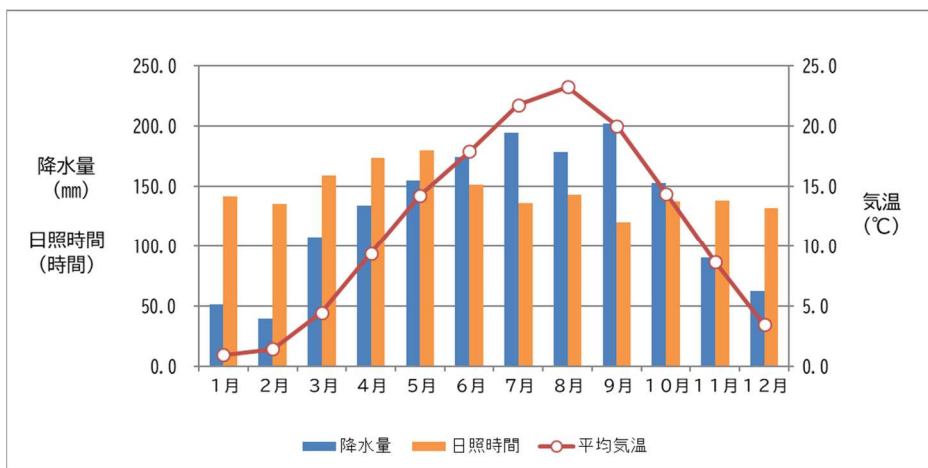
### (2) 気候

本市の気候は、平成4(1992)年から令和3(2021)年までの30年間に於ける年平均気温が11.7℃、年間降水量の平年値が1,544.2mm、年平均日照時間が1,749.8時間となっており、夏は涼しく、冬は積雪があまり見られない比較的温暖な地域です(図2-1)。

本市における気温の長期変化では上昇傾向が見られ、50年で1.1℃の割合で上昇しています(図2-2-1)。

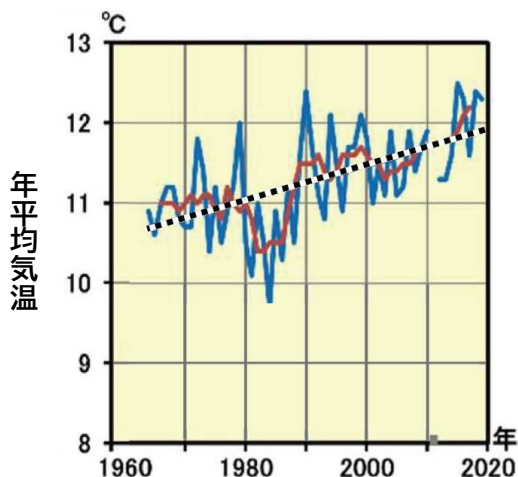
また、日降水量50mm以上の年間日数の推移等は、図2-2-2から図2-2-4のとおりとなっています。

図2-1 大船渡市の気象の状況



出典：大船渡特別地域気象観測所（平成4（1992）年～令和3（2021）年）平均データを基に作成

図2-2-1 年間平均気温の推移

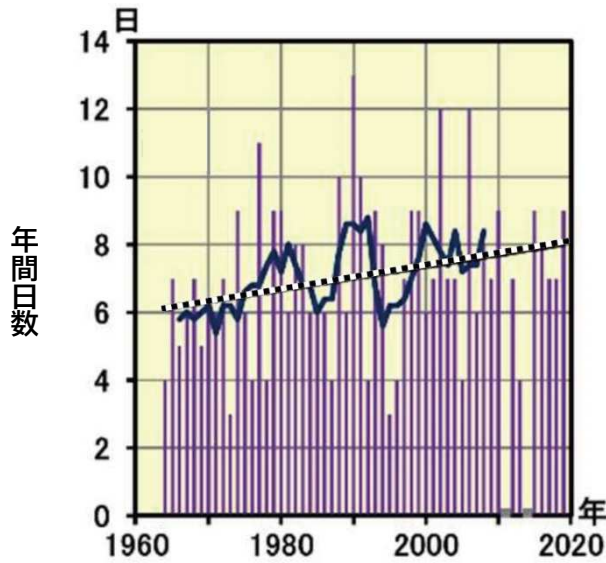


— : 各年の年平均気温 (°C)  
— : 5年移動平均値  
- - - : 長期変化傾向

変化率 1.1℃/50年  
信頼度水準 99%で有意

※信頼度水準：99%の確率で母集団から無作為抽出したサンプルのうち99%で母数を含む信頼区間を得られること  
※2011年の値は資料不足のため用いない

図2-2-2 日降水量 50 mm以上の年間日数の推移

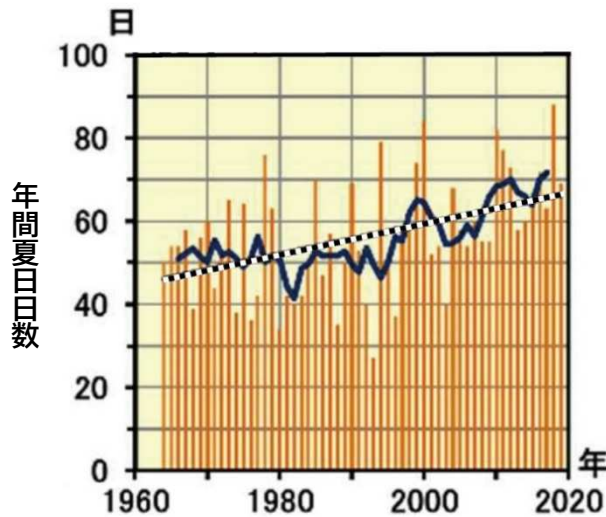


— :各年の日降水量 50mm 以上の年間日数(日)  
 — :5 年移動平均値  
 ..... :長期変化傾向

変化率 1.7 日/50 年  
 信頼度水準 90%で有意

※信頼度水準: 90%の確率で母集団から無作為抽出したサンプルのうち 90%で母数を含む信頼区間を得られること  
 ※2011 年と 2014 年の値は資料不足値のため用いない

図2-2-3 年間夏日日数の推移

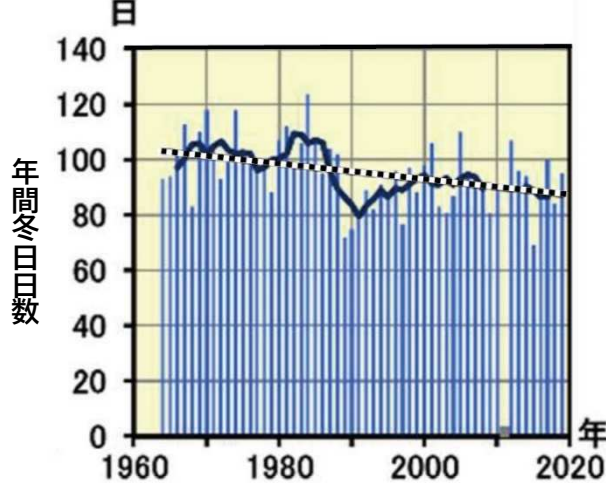


— :各年の夏日(日最高気温 25℃以上)の年間日数(日)  
 — :5 年移動平均値  
 ..... :長期変化傾向

変化率 3.7 日/10 年  
 信頼度水準 99%で有意

※信頼度水準: 99%の確率で母集団から無作為抽出したサンプルのうち 99%で母数を含む信頼区間を得られること  
 ※2011 年は資料不足値だが、気温の状況を確認し、77 日とした

図2-2-4 年間冬日日数の推移



— :各年の冬日(日最低気温 0℃未満)の年間日数(日)  
 — :5 年移動平均値  
 ..... :長期変化傾向

変化率 -2.8 日/10 年  
 信頼度水準 99%で有意

※信頼度水準: 99%の確率で母集団から無作為抽出したサンプルのうち 99%で母数を含む信頼区間を得られること  
 ※2011 年の値は資料不足値のため用いない

図2-2-1から図2-2-4までの出典: 東北地方の気候の変化(仙台管区気象台) 令和元年  
 図2-2-1から図2-2-4までの統計期間: 大船渡特別地域気象観測所で統計を行う資料のある期間(1964~2019年)

### (3) 土地利用

本市の令和3年1月1日現在の地目別地積の合計は322,510千㎡で、山林が68.28%を占めています。

平成25年1月1日現在と比較すると、山林の地積が約2,840千㎡、畑が約1,077千㎡減少しています(表2-1)。

表2-1 地目別地積の推移表

(単位: ㎡)

地目	平成25年1月1日		令和3年1月1日		地積の増減 (B) - (A)
	地積(A)	構成割合	地積(B)	構成割合	
田	3,504,015	1.08%	3,106,407	0.96%	△ 397,608
畑	7,316,348	2.27%	6,239,116	1.93%	△ 1,077,232
宅地	10,714,270	3.32%	10,943,252	3.39%	228,982
鉱泉地	13	0.00%	13	0.00%	0
池・沼	131,727	0.04%	162,488	0.05%	30,761
山林	223,033,536	69.05%	220,193,710	68.28%	△ 2,839,826
牧場	1,832,848	0.57%	1,598,018	0.50%	△ 234,830
原野	2,315,272	0.72%	2,288,957	0.71%	△ 26,315
雑種地	6,794,023	2.10%	8,715,095	2.70%	1,921,072
その他	67,357,948	20.85%	69,262,944	21.48%	1,904,996
合計	323,000,000	100.00%	322,510,000	100.00%	△ 490,000

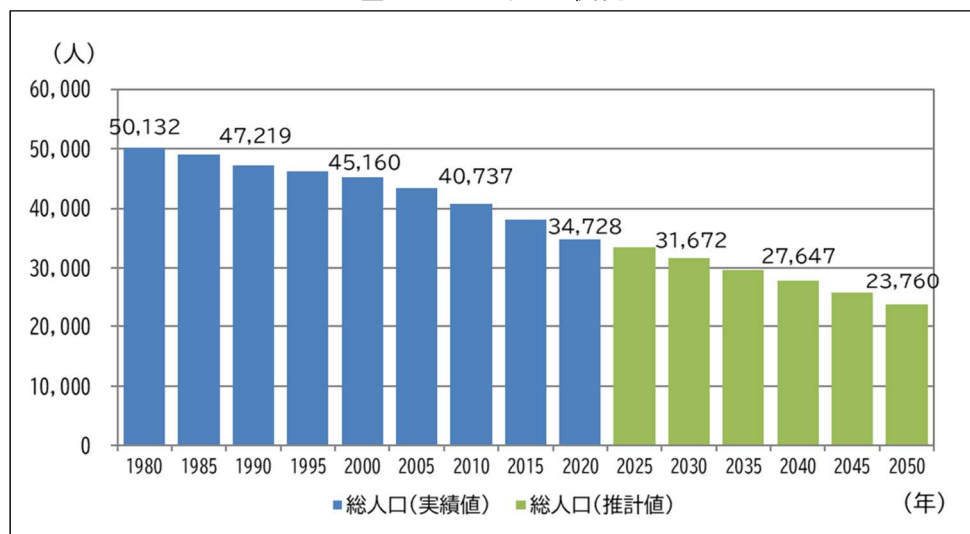
資料: 大船渡市統計書を基に作成

※本市の面積については国土地理院の公表データが基となっていますが、平成25年以前は国土地理院発行2万5千分1地形図を基に面積を算定し、平成26年以降は電子国土基本図を基に面積を算定しています。  
また、本市と釜石市の間には境界未定箇所があることから、上記については参考値となります。

### (4) 人口

本市の人口は、昭和55(1980)年をピークに減少しており、将来人口の推計においても減少し続ける見込みとなっています(図2-3)。

図2-3 人口の状況



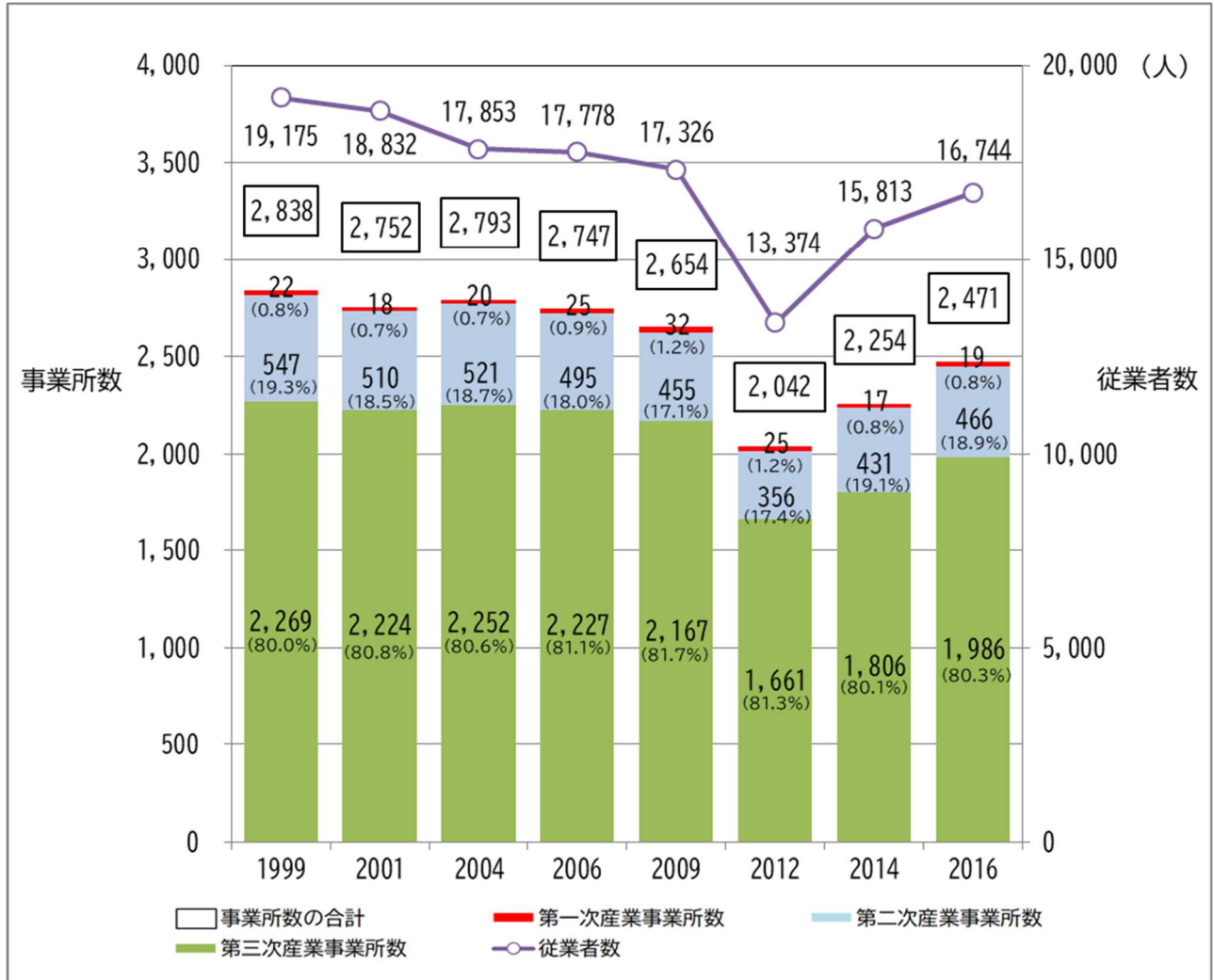
資料: 大船渡市人口ビジョン(改定版)を基に作成。2025年度以降の人口は、市独自の将来人口推計パターン1(合計特殊出生率を、2025年は1.80、2030年には2.10、以降2.10を維持し、社会増減を2025年から均衡させた場合)を引用。

(5) 産業（事業所数・従業者数）

本市の事業所数及び従業者数は、平成 24（2012）年まで減少傾向にありましたが、その後は増加に転じており、平成 28（2016）年は、2,471 事業所、16,744 人となっています（図 2-4）。

また、平成 28（2016）年の産業の割合は、第一次産業 0.8%、第二次産業 18.9%、第三次産業 80.3% となっています。

図 2-4 事業所数及び従業者数の状況



資料：大船渡市統計書

※（ ）の数值は、事業所数に占める第一次産業、第二次産業、第三次産業の割合を示します。  
また、端数処理の関係から、事業所割合の合計が 100% とならない場合があります。

## 2-2 第2次大船渡市環境基本計画の検証

本市では、平成25(2013)年に第2次計画を策定し、基本目標ごとに達成目標を掲げ、目標の実現に向け取り組んできました。

第2次計画の施策体系は表2-2のとおりです。また、基本目標ごとの「計画期間中の主な取組状況とその成果」、「主な達成目標及び達成率区分」、「課題」を(1)～(4)に示します。

表2-2 第2次大船渡市環境基本計画の施策体系

望ましい将来像	基本目標	環境分野・基本方針	施策の方針
自然と調和し よりよい環境を 未来につなぐまち 大船渡	【基本目標1】 市民が安心してくらせる きれいな生活環境を めざします	1-1 大気環境 澄んだ空気を守ります	①大気環境の監視 ②工場・事業場対策 ③自動車排ガス対策
		1-2 水の環境 恵み豊かな水の環境を守ります	①水環境の監視・汚濁事故対策 ②生活系排水対策 ③産業系排水対策 ④水源保全・水質浄化
		1-3 身近な生活環境 安全で快適な生活環境を守ります	①騒音・振動、悪臭対策 ②有害化学物質対策 ③放射線影響対策
	【基本目標2】 自然環境と調和し 快適にくらせるまちを めざします	2-1 自然生態系 多様な生物や地形による豊かな自然 を守ります	①希少な自然の保護 ②里地・里山・里海の保全 ③有害鳥獣・外来生物対策
		2-2 景観資源、身近な緑 自然や歴史を生かし、大船渡らしい 景観を創ります	①自然・歴史景観の活用 ②緑化の普及・啓発
	【基本目標3】 地球環境に配慮した 環境共生型の暮らしを めざします	3-1 廃棄物 ごみ減量化や資源リサイクルに取り 組み、循環型社会を形成します	①3Rの推進 ②廃棄物の適正処理 ③環境美化の推進
		3-2 地球温暖化対策実行計画 省エネルギーやエネルギー転換に取 り組み、低炭素社会を形成します	①地球温暖化に関する啓発 ②省資源・省エネルギーの普及 ③環境負荷の小さいエネルギーの普及 ④市の率先行動
	【基本目標4】 一人ひとりの行動力を 生かす環境保全を めざします	4-1 環境教育・環境学習 環境への理解と意識を高めます	①環境教育の推進 ②人材育成と情報提供
		4-2 環境保全活動・環境配慮 環境保全の行動と連携を広げます	①環境保全活動の推進 ②日常生活における環境配慮の推進 ③事業活動における環境配慮の推進 ④開発事業における環境配慮の推進



## (1) 基本目標1「市民が安心してくらすきれいな生活環境をめざします」

### ア 計画期間中の主な取組状況とその成果

#### (ア) 大気環境

大気汚染の実態を把握するため、二酸化窒素の測定監視や、降下ばいじんの通年測定を実施しています。

二酸化窒素については猪川町字前田地内で測定を行っており、全ての年度で環境基準を達成しています。降下ばいじんについては、令和元年度までは大船渡町字野々田地内及び盛町字権現堂地内、令和2年度以降は大船渡町字野々田地内及び猪川町字下権現堂地内で測定を行っています。平成25年度に権現堂地内、平成26年度に野々田地内で望ましい値<sup>※</sup>を超過しましたが、平成27年度以降は全ての測定地点で望ましい値を達成しており、本市の大気環境はおおむね良好な状況で推移しています(101ページ1-1大気環境)。

また、工場・事業場対策として、県と連携した環境パトロールや、事業所との環境保全協定の締結により公害の防止に努めています。計画期間において5事業所と協定を締結し、これまでに協定を締結した事業所は39事業所となっています。

このほか、自動車排ガス対策では、市の率先行動として公用車へのエコカーの導入を進めており、令和3年度の導入率は82.24%と平成23年度の60.29%から20%以上増加しています。また、エコドライブや公共交通機関の利用について広報紙等で呼び掛けを行っています。

※望ましい値：降下ばいじんには環境基準が定められていませんが、その量が10t/㎥/月を下回ることが生活環境の保全上望ましいとされています。

#### (イ) 水環境

本市には、大船渡湾、門之浜湾、綾里湾、越喜来湾、吉浜湾の五つの湾があり、門之浜湾を除く四つの湾は、環境基準A類型に指定され、水質の測定監視を行っています。

大船渡湾については、県と共同で策定した「大船渡湾水環境保全計画」に基づき、大船渡湾の水質浄化対策に取り組みました。東日本大震災により湾の環境が大きく変わったことから一時的に水質が改善されましたが、再びCOD<sup>※</sup>値が上昇傾向となっています(18ページ図2-5)。

大船渡湾に流入する盛川本流と支川の立根川、吉浜湾に流入する吉浜川についても、環境基準が設定されていることから、測定監視を行っています。いずれも環境基準を達成しており、良好な状況で推移しています。

排水対策については、大船渡市公共下水道基本計画等に基づいた整備により、平成23年度に54.6%だった汚水処理人口普及率が、令和3年度には75.8%に上昇しています。

水源保全、水質浄化対策については、清掃船「さんご丸」の定期的な運行により大船渡湾に流入する漂着ごみの処理を実施したほか、アサリ漁場となる干潟の造成を行いました。

※COD：化学的酸素要求量。水中の被酸化性物質(有機物、無機物)を酸化するために必要とする酸素の量で、海域・湖沼の汚濁を示す代表的な指標です。

(ウ) 身近な生活環境

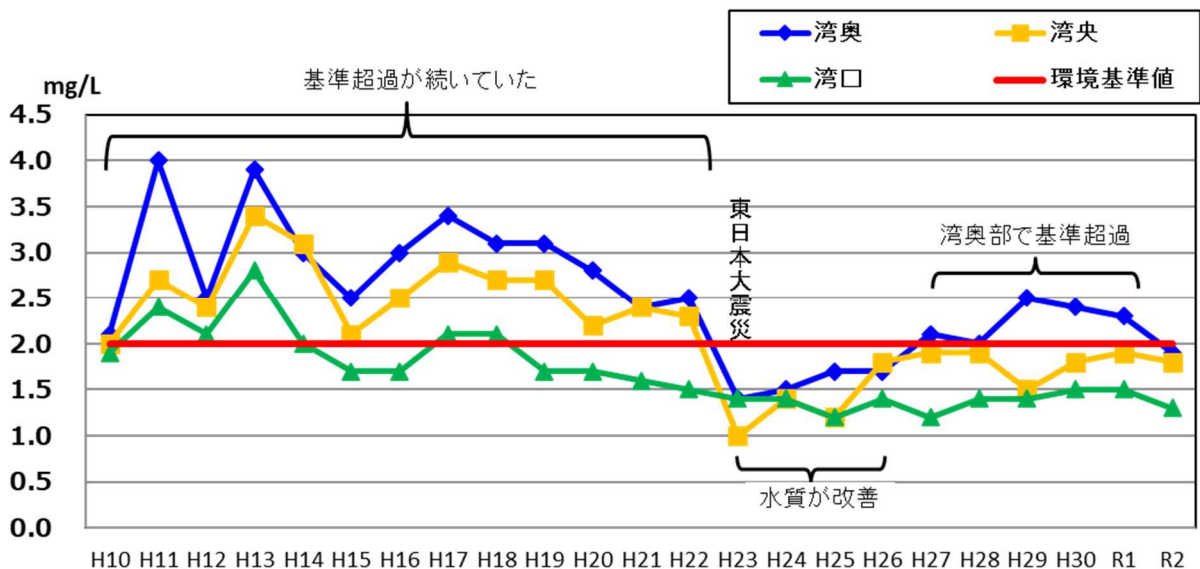
身近な生活環境の現状を把握するため、環境騒音の測定や振動・悪臭の現地調査を行っています。騒音については、全ての年度で環境基準を達成しています。振動や悪臭については、市民からの情報提供等により原因者への指導等を行いました。

有害化学物質対策では、東日本大震災のがれき仮置場として使用した土地等の土壌汚染調査や、震災により生じた廃液・廃薬品類・PCB含有廃棄物等危険物の適正な処理を実施しました。

また、東京電力福島第一原子力発電所事故により放射性物質が拡散したことから、市内の空間放射線量を定期的に測定した結果、健康に影響を及ぼすような状況は確認されませんでした。

市民・事業所アンケートでは、本市の環境について、「住まいの周辺が静かで快適である」の項目に、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた割合が、市民では70.7%、事業所では88.7%となっています(27ページ図2-10及び28ページ図2-11)。

図2-5 大船渡湾のCOD値の推移



出典：岩手県公共用水域水質測定結果を基に作成

イ 主な達成目標及び達成率区分

項目	平成 23 年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和3年度実績における達成率区分 <sup>※1</sup>
二酸化窒素	0.008ppm	0.004ppm	環境基準 (0.04ppm)以下	a
降下ばいじん量	7.9t/km <sup>3</sup> /月(権現堂) 4.5t/km <sup>3</sup> /月(野々田)	3.3t/km <sup>3</sup> /月(権現堂) 2.4t/km <sup>3</sup> /月(野々田)	10t/km <sup>3</sup> /月以下 <sup>※2</sup>	a
大船渡湾湾奥の COD	2.5 mg/l (平成 22 年度 <sup>※3</sup> )	1.9 mg/l (令和2年度 <sup>※3</sup> )	環境基準 (2.0 mg/l)以下	a
大船渡湾湾央の COD	2.3 mg/l (平成 22 年度 <sup>※3</sup> )	1.8 mg/l (令和2年度 <sup>※3</sup> )	環境基準 (2.0 mg/l)以下	a

項目	平成 23 年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和3年度実績 における達成 率区分※1
大船渡湾湾口の COD	1.5 mg/ℓ (平成 22 年度※3)	1.3 mg/ℓ (令和2年度※3)	環境基準 (2.0 mg/ℓ)以下	a
污水处理人口普及率	54.6%	75.8%	82.1%	a
環境騒音	全ての測定地点で 環境基準達成	全ての測定地点で 環境基準達成	環境基準を達成する	a

※1 達成率区分は、達成率（目標年度の直前年度における実績値/令和4年度目標値×100、単位%）が、90%以上：a、70%以上～90%未満：b、50%以上～70%未満：c、50%未満：d。以下、24 ページまで同じ。

※2 降下ばいじんには環境基準が定められていないため、生活環境の保全上望ましいとされている値を目標としています。

※3 平成 23 年度と令和 3 年度の実績については、公表年度等の都合により、( ) 内の年度の数値を記載しています。

〈参考〉 全ての達成目標の実績値は、101～102 ページに掲載しています。

## ウ 課題

- ・ 良好な生活環境の維持
- ・ 大船渡湾の水質汚濁の抑制

## (2) 基本目標2「自然環境と調和し快適にらせるまちをめざします」

### ア 計画期間中の主な取組状況とその成果

#### (ア) 自然生態系

本市は、陸域が森林に覆われた広大な北上高地の一部に当たり、地形が複雑に入り組んだリアス海岸、美しい大海原が広がる太平洋などの豊かな自然に囲まれ、多種多様な生物が生息する地域であり、この豊かな自然生態系を保全するための取組を行いました。

希少な自然を保護するため、自然公園保護管理員の設置による動植物の保護、自然観察会及び水生生物調査を実施し、自然保護意識の啓発に取り組みました。

里地・里山・里海の保全として、盛川河川敷公園の管理、豊かな海を育む大きな森づくり事業による植樹等を実施しました。また、市有林整備事業により令和3年度時点で488.62haの間伐を実施しており、計画期間中の達成目標を上回りました。

有害鳥獣対策については、本市は特にシカ等による農林業への被害が発生していることから、鳥獣被害対策推進員を設置するとともに、防護網の配布、シカの有害捕獲等を行い、農林業への被害防止に努めました。

### 本市に生育する植物



ニッコウキスゲ



ハマギク



スカシユリ



ノハナショウブ

環境省東北地方環境事務所大船渡自然保護官事務所提供

### (イ) 景観資源・身近な緑

震災復興に伴う碇石海岸集団施設地区復旧再整備事業の実施や、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐ「みちのく潮風トレイル」の整備、地形・地質の保全・活用等を図る「三陸ジオパーク」の認定など、自然景観を保全しつつ、観光等の資源の活用を図る取組を進めました。

また、国指定史跡の「下船渡貝塚」、「蛸ノ浦貝塚」、「大洞貝塚」等の歴史的な資源や、県指定天然記念物「大船渡の三面椿」、市指定天然記念物「老杉」等を有しており、史跡等の現地説明を行う文化財めぐりの実施や、天然記念物に指定されている樹木の樹勢回復を行うなど、文化財の活用と保全に取り組みました。

市街地の緑化については、夢海公園、サン・アンドレス公園等の整備により、身近な緑の創出が図られています。

市民・事業所アンケートでは、本市の環境について、「自然・歴史的な景観が保たれている」、「身近に自然と触れ合える場所がある」の項目に、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた割合が、市民・事業所ともに半数を超えています（27 ページ図 2-10 及び 28 ページ図 2-11）。

### イ 主な達成目標及び達成率区分

項目	平成 23 年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和3年度実績における達成率区分
間伐実施面積	119.46ha	28.9ha(単年度) 488.62ha(累計)	397.0ha(累計)	a
市街地の緑化水準	7.5%	11.8%	15.0%	b

### ウ 課題

- ・鳥獣被害対策の推進
- ・森林の適切な維持管理
- ・観光資源としての豊かな自然の活用

### 碇石海岸集団施設地区復旧再整備事業で整備された主な施設



碇石海岸インフォメーションセンター



碇石海岸キャンプ場

(3) 基本目標3「地球環境に配慮した環境共生型のくらしをめざします」

ア 計画期間中の主な取組状況とその成果

(ア) 廃棄物

限りある資源を有効に利用し、環境負荷をできるだけ少なくする循環型社会を形成するため、ごみの減量化や資源リサイクルの取組を行いました。

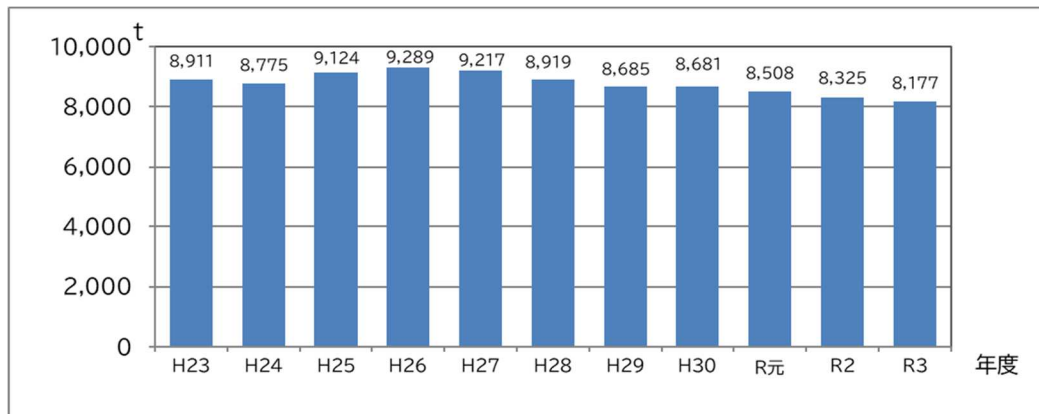
可燃ごみ、不燃ごみ、資源古紙は大船渡地区環境衛生組合が収集運搬しており、このうち可燃ごみは岩手沿岸南部広域環境組合（岩手沿岸南部クリーンセンター）で処理を行っています。不燃ごみの缶類やびん類、資源古紙は、大船渡地区環境衛生組合で再利用化を図っており、資源回収実施団体への奨励金交付も行っていきます。

市では、ごみ減量化やリサイクル等について周知や啓発を図るとともに、セメント工場を有する地域特性をいかし、モデル地区を設定し、プラスチック類等を「再利用ごみ」として分別収集し、セメントの原燃料として再利用する取組を行いました。

第2次計画期間中におけるごみ排出量は減少傾向にあります。1人1日当たりのごみ排出量は高い値で推移しています（図2-6、2-7）。

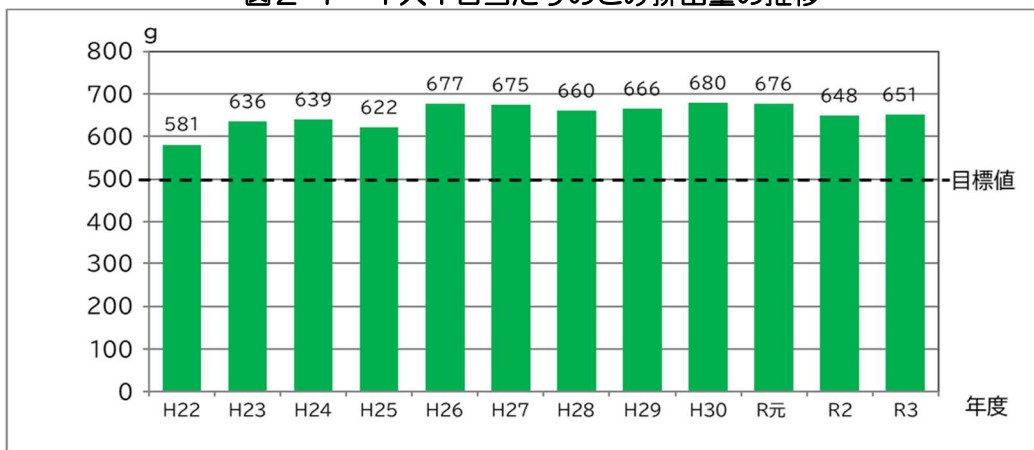
環境美化の推進では、市内一斉清掃、市内一斉クリーン作戦等の市民参加による環境美化活動を実施するとともに、不法投棄対策として、市公衆衛生組合連合会及び市環境保全推進協議会と連携し、不法投棄防止看板及び不法投棄防止ネットの設置や、衛生監視員による監視等を実施しました。

図2-6 本市のごみ排出量の推移



出典：岩手県「県内のごみ排出量の年間実績」を基に作成。  
ごみ排出量は家庭系ごみ（資源ごみを除く）の量。

図2-7 1人1日当たりのごみ排出量の推移



出典：大船渡地区環境衛生組合ごみ排出量データを基に作成。  
ごみ排出量は家庭系ごみ（資源ごみを除く）の量。

## (イ) 地球温暖化対策実行計画

第2次計画では、地球規模の気候の変化と国際的な気候変動対策の状況等から、計画内に「地球温暖化対策実行計画」を盛り込み、市域における二酸化炭素排出量と市の行政事務活動における温室効果ガス総排出量について、目標を掲げて削減に取り組んできました。

このうち、市域における二酸化炭素排出量については、令和4（2022）年度に平成2（1990）年度比25%削減を掲げ、平成30（2018）年度実績値で23.3%の削減となっていました。地球温暖化の深刻さを踏まえ、これまで以上に地球温暖化対策に取り組むため、令和4年3月に令和4（2022）年度から令和12（2030）年度までを計画期間とする「大船渡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しました。

同計画では、令和12（2030）年度の温室効果ガス排出量を平成25（2013）年度比46%削減、令和32（2050）年度の温室効果ガス排出量実質ゼロを目標に掲げ、「省エネルギー対策の推進」、「再生可能エネルギーの利用促進」、「多様な手法による地球温暖化対策の推進」の三つの基本目標により取組を推進することとしています。

第2次計画における取組としては、エコドライブや家庭でできる二酸化炭素排出量の削減等について、広報紙等で周知を行うとともに、マイバッグ推進キャンペーンや環境衛生図書展などの啓発イベントを実施しました。また、住宅用太陽光発電システム設置に係る補助や、市内企業による木質バイオマス発電事業の支援など、再生可能エネルギーの普及事業を行いました。

市の行政事務活動における温室効果ガス総排出量の削減については、計画期間中の各年度において対前年度以下となることを目標とし、エネルギー使用の抑制や、省資源化の取組を推進しました。

また、市の事務事業に係る「第3次大船渡市地球温暖化対策推進実行計画」を策定し、令和12（2030）年度の温室効果ガス排出量について、基準年度である平成25（2013）年度比40%削減を目標として取り組んでいます。令和3（2021）年度実績値は、平成25年度比24.5%削減となっています。（102 ページ3-2 地球温暖化対策実行計画）

## イ 主な達成目標及び達成率区分

項目	平成23年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和3年度実績における達成率区分
1人1日当たりごみ排出量	581g (平成22年度*)	651g	500g	b
市域における二酸化炭素排出量	336千トン (平成21年度*) 平成2年度比 14%削減	285千トン (令和元年度*) 平成2年度比 27.1%削減	239千トン 平成2年度比 25%削減	a

※平成23年度実績と令和3年度実績については、公表年度等の都合により、( )内の年度の数値を記載しています。

## ウ 課題

- ・ごみ減量化とリサイクルの推進
- ・地球温暖化対策の一層の推進

#### (4) 基本目標4「一人ひとりの行動力を生かす環境保全をめざします」

##### ア 計画期間中の主な取組状況とその成果

###### (ア) 環境教育・環境学習

環境への理解と意識を高めるため、講座の開催、講師派遣、広報紙やホームページを利用した環境活動情報の提供等を行いました。

市民・事業所アンケートでは、本市の環境について、「子どもから大人までの環境教育・環境学習が進んでいる」の項目に、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた割合が、市民では20.0%、事業所では17.0%にとどまっています(27 ページ図 2-10 及び 28 ページ図 2-11)。

###### (イ) 環境保全活動・環境配慮

市民・事業所による環境保全活動を推進するため、市内一斉清掃や市内一斉クリーン作戦などの清掃・美化活動の実施や、各地域で組織する公衆衛生組合の活動を支援しました。清掃・美化活動については、参加者が固定化・高齢化する傾向にあります。

また、日常生活や事業活動における省エネルギーの取組、環境汚染防止などの環境配慮行動を推進するため、エコライフや水質浄化に対する意識の啓発等を行いました。このほか、事業活動において環境の保全及び公害の未然防止を図るよう、5事業所と環境保全協定を締結しました。

市民意識調査では、「環境に配慮した行動を実践している」と回答した割合が84.6%と高くなっており、これを維持していく必要があります。

##### イ 主な達成目標及び達成率区分

項目	平成 23年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和3年度実績における達成率区分
青少年の環境保全実践活動等参加団体数	12 団体	4 団体	30 団体	d
環境に配慮した行動を実践している人の割合	70.7%	84.6%	80.0%	a

##### ウ 課題

- ・環境教育や情報発信の充実
- ・市民が参加しやすい環境保全活動の実施



## 2-3 市民・事業所アンケート調査結果

### (1) 調査概要

第3次大船渡市環境基本計画の策定に当たって、市民及び事業者の意見を計画に反映するため、アンケート調査を実施しました。

調査の概要は表2-3のとおりです。

表2-3 市民・事業所アンケート調査概要

市民アンケート	
実施時期	令和4年8月26日(金)～令和4年9月9日(金)
対象	18歳以上の市民1,000人 ※住民基本台帳から無作為抽出
回答方法	郵送、インターネット回答
回答数	446(うち郵送407、インターネット39)
事業所アンケート	
実施時期	令和4年8月26日(金)～令和4年9月9日(金)
対象	市内に事業所を置く100事業者
回答方法	郵送、インターネット回答
回答数	53(うち郵送44、インターネット9)

### (2) 調査結果

調査項目のうち、主なものを記載しています。

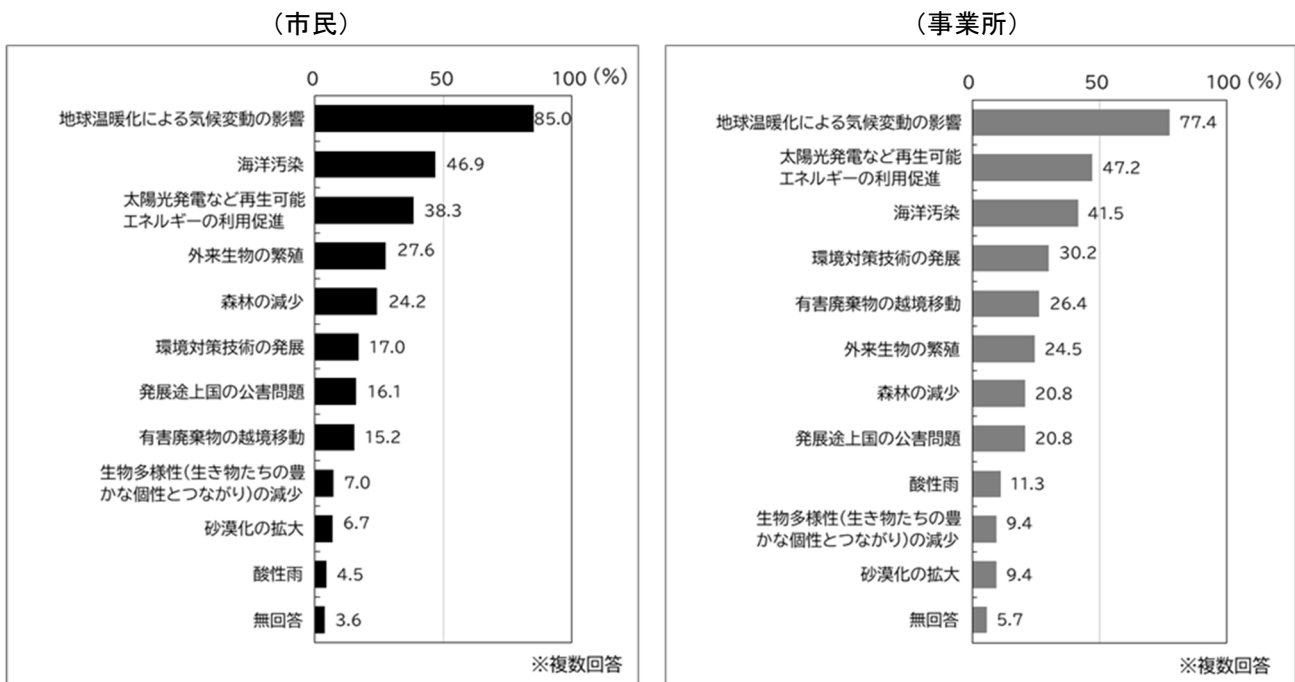
調査結果の詳細は、82ページから100ページにかけて記載しています。

#### ア 興味や関心のある地球規模の環境のテーマについて

興味や関心のある地球規模の環境のテーマについては、市民・事業所ともに「地球温暖化による気候変動の影響」が最も高くなっており、地球温暖化問題への関心の高さがうかがえます。

続いて「海洋汚染」や「太陽光発電など再生可能エネルギーの利用促進」が高い結果となりました(図2-8)。

図2-8 興味や関心のある地球規模の環境のテーマ

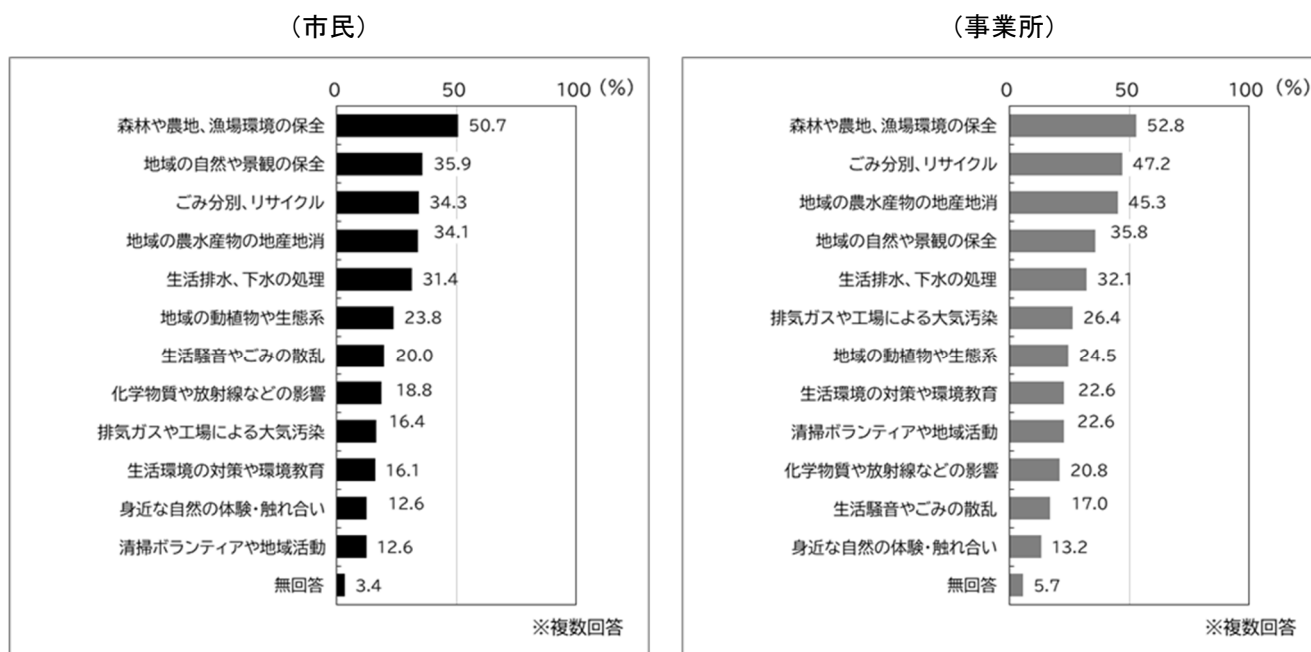


## イ 興味や関心のある身近な環境のテーマについて

興味や関心のある身近な環境のテーマについては、市民・事業所ともに「森林や農地、漁場環境の保全」が最も高くなっており、産業を支える環境の保全についての関心の高さがうかがえます。

続いて、市民では、「地域の自然や景観の保全」や「ごみ分別、リサイクル」、事業所では、「ごみ分別、リサイクル」、「地域の農水産物の地産地消」が高い結果となりました（図2-9）。

図2-9 興味や関心のある身近な環境のテーマ



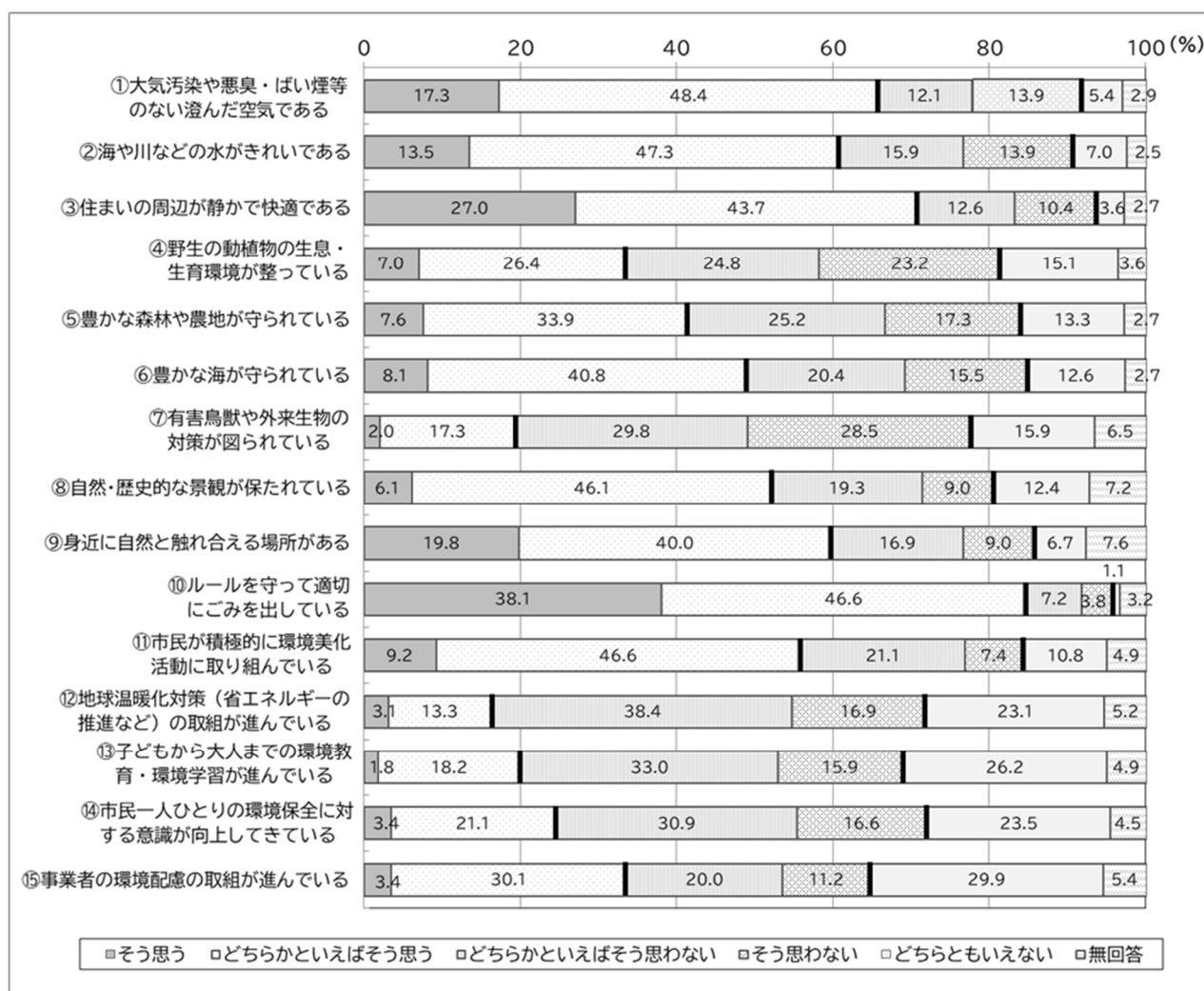
## ウ 現在の大船渡市の環境について

### 【市民アンケート】

現在の本市の環境について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が最も高い項目は、「⑩ルールを守って適切にごみを出している」で84.7%となっており、続いて「③住まいの周辺が静かで快適である」、「①大気汚染や悪臭・ばい煙等のない澄んだ空気である」が高い結果となりました。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が最も高い項目は、「⑦有害鳥獣や外来生物の対策が図られている」で58.3%となっており、続いて「⑫地球温暖化対策（省エネルギーの推進など）の取組が進んでいる」、「⑬子どもから大人までの環境教育・環境学習が進んでいる」が高い結果となりました（図2-10）。

図2-10 現在の大船渡市の環境について（市民）

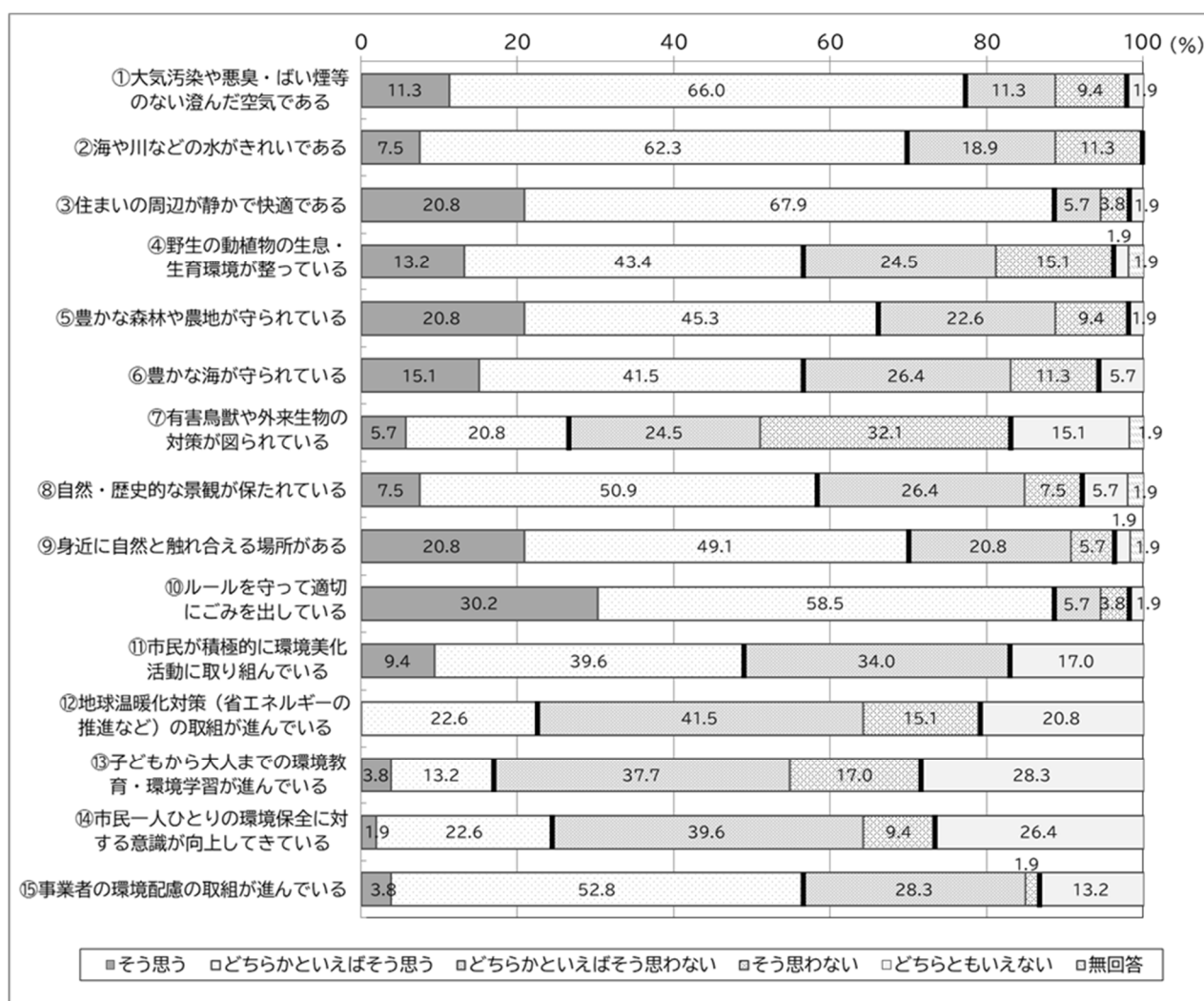


【事業所アンケート】

現在の本市の環境について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が最も高い項目は、「⑩ルールを守って適切にごみを出している」と「③住まいの周辺が静かで快適である」がともに88.7%となっており、続いて「①大気汚染や悪臭・ばい煙等のない澄んだ空気である」、「⑨身近に自然と触れ合える場所がある」が高い結果となりました。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が最も高い項目は、「⑦有害鳥獣や外来生物の対策が図られている」と「⑫地球温暖化対策（省エネルギーの推進など）の取組が進んでいる」がともに56.6%となっており、続いて「⑬子どもから大人までの環境教育・環境学習が進んでいる」、「⑭市民一人ひとりの環境保全に対する意識が向上してきている」が高い結果となりました（図2-11）。

図2-11 現在の大船渡市の環境の評価（事業所）

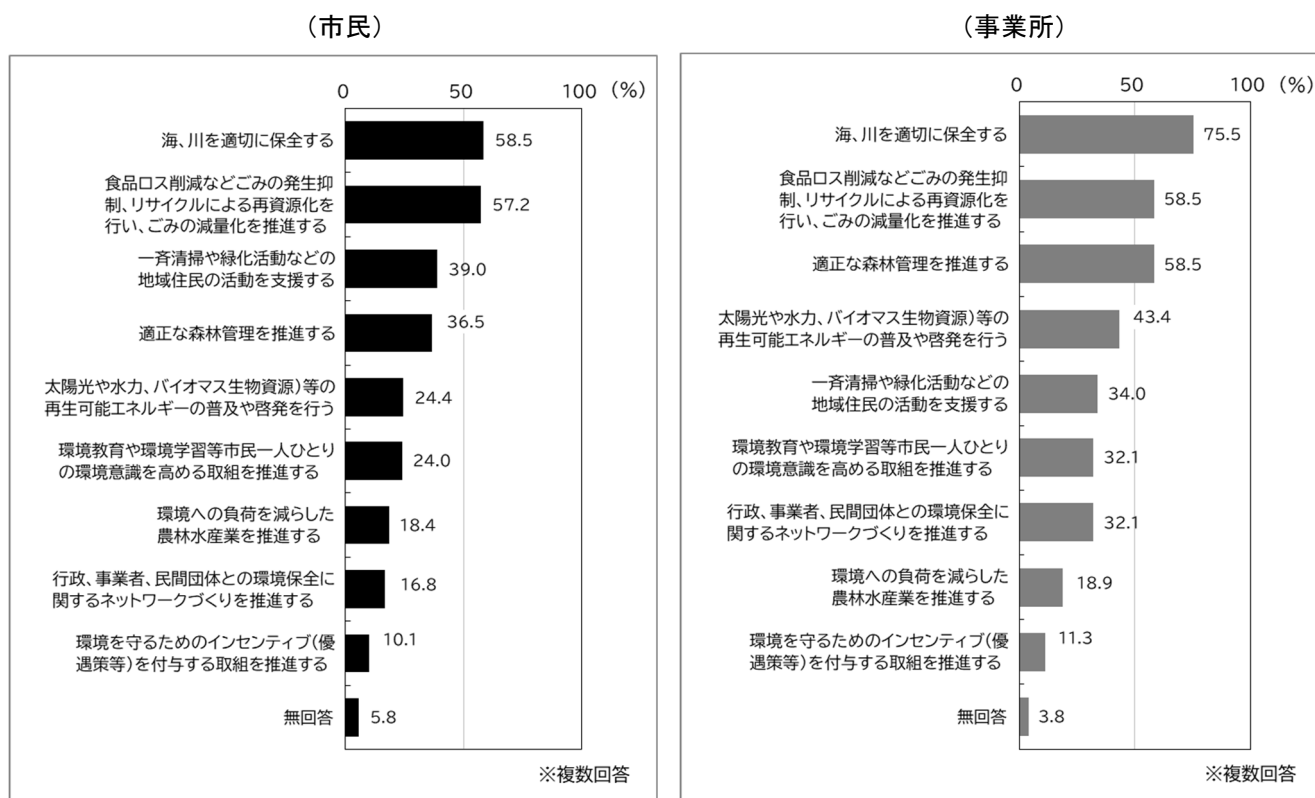


## エ. 環境問題を解決するために必要な環境保全施策について

環境問題を解決するために必要な環境保全施策については、市民・事業所ともに「海、川を適切に保全する」が最も高くなっており、本市の大切な資源である水環境の保全意識の高さがうかがえます。

続いて、市民では、「食品ロス削減などごみの発生抑制、リサイクルによる再資源化を行い、ごみの減量化を推進する」や「一斉清掃や緑化活動などの地域住民の活動を支援する」、事業所では、「食品ロス削減などごみの発生抑制、リサイクルによる再資源化を行い、ごみの減量化を推進する」や「適正な森林管理を推進する」が高い結果となりました（図2-12）。

図2-12 環境問題を解決するために必要な環境保全施策





## 第3章 望ましい環境像と施策の体系

## 第3章 望ましい環境像と施策の体系

### 3-1 望ましい環境像

本市は、三陸復興国立公園や県立自然公園を有し、海・山・川の豊かで美しい自然や、生物多様性に富んだ地域です。これらの自然環境は、市民生活に潤いと安らぎを与えるとともに、農林漁業や資源採集などの恵みをもたらすかけがえのない共有財産といえます。

一方で、自然は時に地震、津波、豪雨等の災害を起こし、人間の生活をおびやかすこともあることから、自然の厳しさへの対応も求められます。

自然の恵みを産業等に持続的に活用し続け、本市の豊かな環境を将来に引き継いでいけるよう、市民、事業者、市が連携、協力し、守り育てていく必要があります。

このことから、大船渡市環境基本条例の基本理念と、「大船渡市総合計画 2021」の将来都市像を踏まえ、望ましい環境像を次のように設定します。

豊かな環境を ともに守り育て 未来につなぐまち 大船渡

### 3-2 施策の推進に向けた分野横断的な視点

環境に関する課題には、地球温暖化の進行による気候変動、大量生産・大量消費による廃棄物の増大など、人間の社会経済活動が原因となって発生しているものが少なくありません。

省エネルギーの推進や再生可能エネルギー導入、リサイクルの促進など環境の課題を解決するための取組を進めることで、経済や社会の課題までも一体的に解決させるような、横断的な視点を取り入れた施策を検討することが必要です。

そのため、本計画では、従来の環境分野別の視点に加え、SDGsの視点を取り入れます。

### 3-3 基本目標と施策の体系

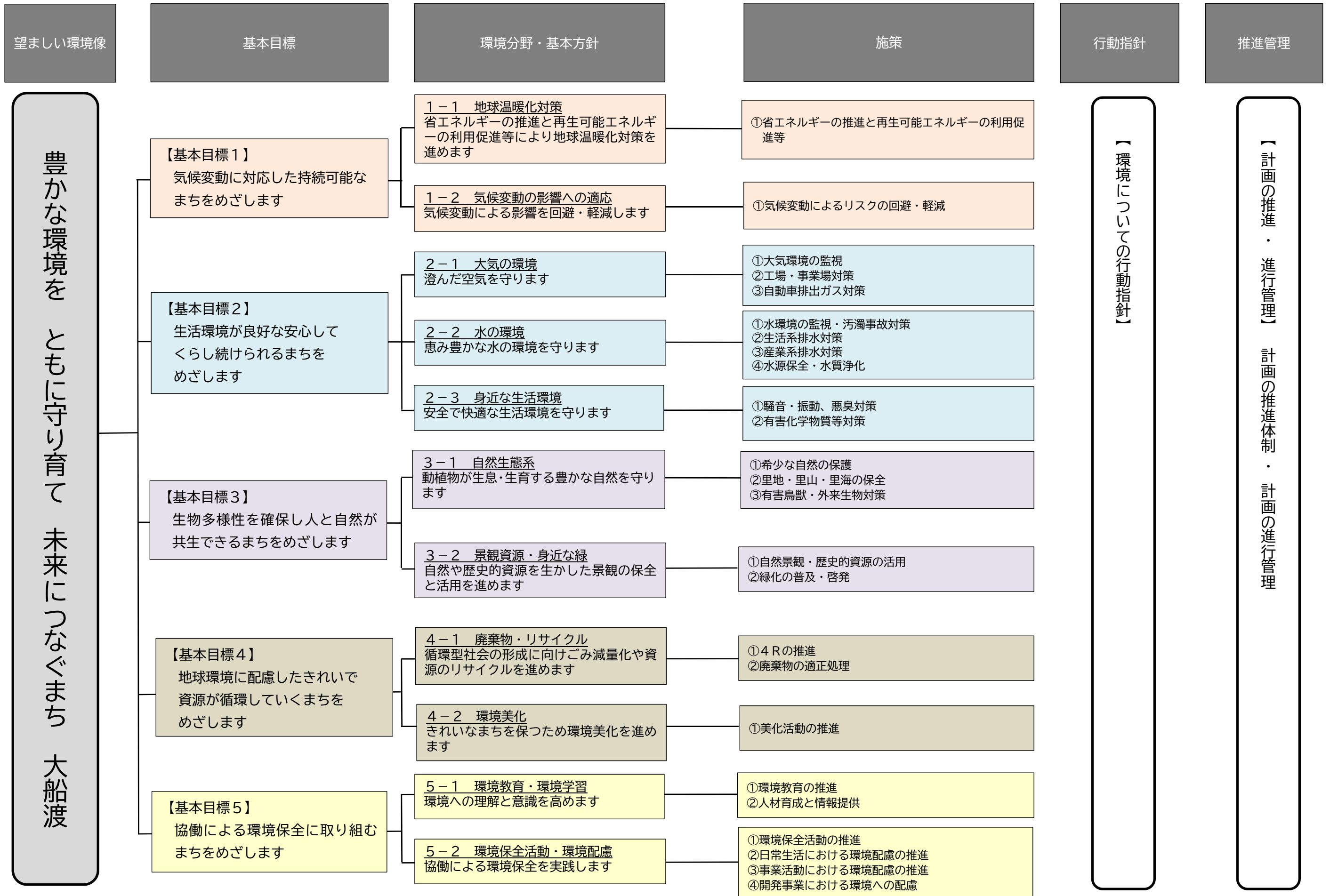
望ましい環境像を実現するため、「気候変動への対応」「生活環境の保全」「自然との共生」「資源の循環的利用」「協働による環境保全」の視点から以下の基本目標を掲げます。

また、次ページの「施策の体系」により、基本目標ごとに環境分野と分野別の基本方針を定め、各施策に取り組んでいきます。

- 基本目標 1 気候変動に対応した持続可能なまちをめざします
- 基本目標 2 生活環境が良好な安心して暮らし続けられるまちをめざします
- 基本目標 3 生物多様性を確保し人と自然が共生できるまちをめざします
- 基本目標 4 地球環境に配慮したきれいで資源が循環していくまちをめざします
- 基本目標 5 協働による環境保全に取り組むまちをめざします



# 施策の体系



### 3-4 SDGsとの関連

SDGsは、人間の安全保障の理念を反映して誰一人取り残さないことを目指し、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

それぞれのゴールとターゲットは相互に関連しており、一つの課題解決に向けた行動によって複数の課題を解決することを目指すものです。環境政策を通じて経済、社会の広範囲な課題にも一体的に取り組むことにより、持続可能な社会の実現を目指します。

本計画では、各施策とSDGsのゴールを関連付けることで、環境的視点からだけでなく、経済、社会的視点からも持続可能であることを目指し、取組を推進します（図3-1）。

図3-1 SDGsのゴールと関連する主な施策

関連するSDGsのゴール	関連する主な施策
 <b>2 飢餓をゼロに</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動によるリスクの回避・軽減</li> <li>・4Rの推進</li> </ul>
 <b>3 すべての人に健康と福祉を</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動によるリスクの回避・軽減</li> <li>・大気環境の監視</li> <li>・工場・事業場対策</li> <li>・自動車排出ガス対策</li> <li>・有害化学物質等対策</li> </ul>
 <b>4 質の高い教育をみんなに</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育の推進</li> <li>・人材育成と情報提供</li> </ul>
 <b>6 安全な水とトイレを世界中に</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境の監視・汚濁事故対策</li> <li>・水源保全・水質浄化</li> </ul>
 <b>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの利用促進等</li> </ul>
 <b>9 産業と技術革新の 基礎をつくろう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動によるリスクの回避・軽減</li> </ul>
 <b>11 住み続けられるまちづくりを</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音・振動、悪臭対策</li> <li>・日常生活における環境配慮の推進</li> <li>・有害鳥獣・外来生物対策</li> <li>・事業活動における環境配慮の推進</li> <li>・自然景観・歴史的資源の活用</li> <li>・開発事業における環境配慮の推進</li> </ul>
 <b>12 つくる責任つかう責任</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4Rの推進</li> <li>・廃棄物の適正処理</li> <li>・事業活動における環境配慮の推進</li> </ul>
 <b>13 気候変動に具体的な対策を</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの利用促進等</li> <li>・気候変動によるリスクの回避・軽減</li> <li>・里地・里山・里海の保全</li> <li>・環境教育の推進</li> </ul>
 <b>14 海の豊かさを守ろう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活系排水対策</li> <li>・産業系排水対策</li> <li>・美化活動の推進</li> <li>・環境保全活動の推進</li> <li>・里地・里山・里海の保全</li> </ul>
 <b>15 陸の豊かさを守ろう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希少な自然の保護</li> <li>・里地・里山・里海の保全</li> <li>・緑化の普及・啓発</li> <li>・美化活動の推進</li> <li>・環境保全活動の推進</li> </ul>
 <b>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動によるリスクの回避・軽減</li> <li>・環境保全活動の推進</li> </ul>



## 第4章 環境分野の施策の展開

# 第4章 環境分野の施策の展開

## 基本目標 1

### 気候変動に対応した持続可能なまちをめざします

地球温暖化は、気候変動をもたらし、気温上昇、大雨の頻度の増加や熱中症リスクの増加など、全国各地で影響が現れており、そのリスクは今後更に高まることが予測されています。

本市も、日降水量 50 mm以上の年間日数、夏日（日最高気温 25℃以上）の年間日数が増加しており、決して例外ではありません（13 ページ図 2-2-2、図 2-2-3）。

地球温暖化、その他の気候変動に対処するためには、温室効果ガスの排出量を削減する「緩和」策に取り組むことはもちろんのこと、現在生じており、また、将来予想される被害の回避・軽減を図る「適応」策にも取り組むことが重要となります。

緩和と適応の両輪で気候変動の課題に取り組み、持続可能なまちを目指します。

#### 【関連するSDGs】



## 環境分野 1-1 地球温暖化対策

「大船渡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、「省エネルギー対策の推進」「再生可能エネルギーの利用促進」「多様な手法による地球温暖化対策の推進」の目標の下、温室効果ガスの排出抑制を推進します。

### （1）基本方針と達成目標

#### 【基本方針】

省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの利用促進等により地球温暖化対策を進めます

#### 【達成目標】

項目	基準年度 (平成 25 年度)	令和3年度現在	令和 14 年度目標※1
市の行政事務活動における 温室効果ガス総排出量	総排出量 8,590.91t	総排出量 6,486.57t 平成 25(2013)年度比 24.5%削減	総排出量 5,154.55t以下 平成 25(2013)年度比 40%以上削減
市の温室効果ガス排出削減 量	総排出量 1,934.1 千t	総排出量 1,846.0 千t 平成 25(2013)年度比 4.6%削減 (平成 29 年度※2)	平成 25(2013)年度比 46%以上削減 ※令和 32 年度に総排出量 実質ゼロを目指す

※1 目標値は、計画の見直しにより新たな目標を定めた場合など、必要に応じて弾力的に見直します。

※2 市の温室効果ガス総排出量の実績値は、公表年度等の都合により、( ) 内の年度の数値を記載しています。

## (2) 施策の方針と取組

### 施策①省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの利用促進等

#### 【施策の方針】

- ・ 温室効果ガス排出量を削減する省エネルギー行動等緩和策の推進
- ・ 再生可能エネルギーの利用促進

#### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
再生可能エネルギー利用事業者への指導、支援	民間事業者による再生可能エネルギーを利用した発電事業に関し、国のガイドライン等に沿い、必要に応じて適切に指導、支援する。	各課等
地球温暖化対策推進実行計画の推進	市の事務事業により生じる温室効果ガス排出量の削減に係る取組を進める。	市民環境課
エコドライブの普及	ふんわりアクセルやアイドリングストップ、加減速の少ない運転など、環境にやさしい運転に取り組む。	市民環境課
エコ協力店いわての認定	ごみの減量化やリサイクルの取組を積極的に行う店舗等を、「エコ協力店」として県と共同で認定する。	市民環境課
エコカーの導入	市の率先行動として、公用車の更新時にエコカーの導入を進める。	各課等
マイバッグ推進キャンペーン	流通から消費までの各段階における、ごみと温室効果ガスの発生を防ぐ取組として、マイバックの活用及びレジ袋の削減を、市民、各種団体、市内小売事業者及び市が協力し推進する。	市民環境課
ごみ減量化・リサイクル啓発事業	ごみ減量化やリサイクルの普及に関する啓発記事を随時、広報紙等へ掲載する。	市民環境課
使用済食用油の回収	家庭から出る使用済食用油を市役所等公共施設で回収することで、油を排水溝へ流すことによる水質汚濁等を防ぐとともに、回収した油はバイオディーゼル燃料を作る業者へ引き渡してリサイクルする。	市民環境課
環境衛生図書展	環境衛生週間や食品ロス削減月間等に合わせ、地球温暖化対策、水環境保全、ごみの減量化やリサイクルなど、環境について考える機会として図書展を開催する。	市民環境課
環境に関する研修会の開催	各種団体向けに環境保全や地球温暖化対策、リサイクルなどに関する研修会を開催する。	市民環境課
公共工事等における建設機械の排出ガス抑制	公共工事等に使用する建設機械について、排出ガス量を削減するために、排出ガス対策型の使用を促す。	各課等
市有林整備事業	森林を保全するため、市有林の間伐等を実施し、林床への植物の生育を促すとともに、水源かん養や二酸化炭素の吸収など、森林の公益的機能を発揮させる。	農林課

## 環境分野 1-2 気候変動の影響への適応

地球温暖化による気候変動は、海面上昇、豪雨や洪水等の災害リスクや、熱中症・感染症等の疾病リスクの増大につながる事が懸念されています。

このため、気候変動によるリスクを回避・軽減するための施策を推進します。

市民・事業所アンケート調査では、「興味や関心のある地球規模の環境のテーマ」として、「地球温暖化による気候変動の影響」が市民・事業所ともに最も高くなっています（25 ページ図 2-8）。

### （1）基本方針と達成目標

#### 【基本方針】

気候変動による影響を回避・軽減します

#### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
「災害に備え、食料や水、衣類などをすぐに持ち出せるようにしている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	29.4%	35.1%

### （2）施策の方針と取組

#### 施策①気候変動によるリスクの回避・軽減

##### 【施策の方針】

- ・ 防災訓練の実施による防災意識の高揚
- ・ ハザードマップの作成による防災・減災体制の整備
- ・ 河川改修等による土砂災害等への対応
- ・ 気候変動に伴う疾病への注意喚起

##### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
防災訓練の実施	津波や水害・土砂災害等を想定した防災訓練を実施し、住民との協力体制の確立と防災意識の高揚を図る。	防災管理室
ハザードマップの作成	県が公表する洪水浸水想定を踏まえた水害ハザードマップを作成し、防災・減災体制の整備・充実を図る。	防災管理室
防災重点農業用ため池のハザードマップ作成	防災重点農業用ため池のハザードマップを作成し、市民に周知する。	農林課
土砂災害防止対策事業	県が実施する土砂災害警戒区域等の調査結果を受け、区域指定に係る説明会を開催するほか、土砂災害防止月間（6月）に危険箇所の点検パトロールを実施する。	建設課
河川改修事業	近年多発する異常気象等による降雨時の大量出水や土砂災害から家屋の浸水などの被害を防ぐため、河川や水路等の整備を行う。	建設課
がけ地近接等危険住宅移転事業	土砂災害特別警戒区域からの移転促進を図るため、危険住宅を除却し、代替住宅（取得又は賃貸）への移転を行うものに対して、補助金を交付する。	住宅管理課
防災公園の整備	応急仮設住宅建設用地などの防災拠点機能を併せ持つ都市公園を整備する。	土地利用課
熱中症予防情報の普及	市民の熱中症を予防するため、広報紙やホームページ、SNS等を通じて情報の提供を行い、啓発と注意喚起を図る。	健康推進課
感染症への対応と予防情報の普及	関係機関等と連携して対策に取り組むとともに、感染予防に関する情報について、広報紙やホームページ、SNS等を通じて普及啓発を図る。	健康推進課

## 基本目標 2

## 生活環境が良好な安心して暮らし続けられるまちをめざします

市民一人一人が健康で快適に暮らすためには、大気や水が安全な状態に保たれ、騒音・振動・悪臭等の環境公害がない生活環境づくりが不可欠です。

日常生活を取り巻く生活環境について、市民が安心して暮らすことのできる、良好な状態を保ったまちを目指します。

### 【関連するSDGs】



### 環境分野 2-1 大気環境

本市の大気環境は、良好な状態が保たれていることが確認されていますが、今後も二酸化窒素、降下ばいじん量の測定により大気現状を把握するとともに、工場・事業場や自動車などの発生源への対策に取り組めます。

#### (1) 基本方針と達成目標

##### 【基本方針】

澄んだ空気を守ります

##### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
二酸化窒素	0.004ppm	環境基準(0.04ppm)以下
降下ばいじん量	3.3t/㎥/月(下権現堂) 2.4t/㎥/月(野々田)	10t/㎥/月以下※

※降下ばいじんには環境基準が定められていないため、生活環境の保全上望ましいとされている値を目標としています。

#### (2) 施策の方針と取組

##### 施策①大気環境の監視

##### 【施策の方針】

- ・大気の常時監視測定
- ・測定結果の公表

##### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
道路粉じん調査	沿道における降下ばいじん量について、通年で調査を実施する。	市民環境課
二酸化窒素の常時監視測定	二酸化窒素 (NO2) の状況を確認し、公表する。	市民環境課



主な事業・取組	内 容	担当課
公害苦情処理	水質汚濁、不法投棄、悪臭、騒音等に係る市民相談に対応し、関係機関と連携を図りながら、必要な調査、助言等を行う。	市民環境課
PM2.5及び光化学オキシダント情報の周知	県が測定するPM2.5（微小粒子状物質）及び光化学オキシダントについて、県から注意報等が発令された際に、防災無線等により周知を行う。	市民環境課
「大船渡市の環境」の作成	市内における環境の現状と対策（主として公害関連）等についてまとめ、隔年で公表する。	市民環境課

## 施策②工場・事業場対策

### 【施策の方針】

- ・工場・事業場の環境保全状況の監視
- ・大気汚染防止法等に基づく指導
- ・環境汚染防止に関する意識啓発

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
環境パトロール	公害苦情の発生原因となった事業場等を対象に、県と連携して環境パトロールを実施する。	市民環境課
工場、事業場等への立入調査	環境に関する諸法令を遵守しているかを確認するため、県と連携して立入調査を実施し、必要に応じて指導する。	市民環境課
環境保全協定締結の推進	環境の保全と公害の未然防止を図るとともに、事業者が自主的に環境への負荷を低減するよう環境保全協定の締結を推進する。	市民環境課
事業者環境意識啓発事業	大船渡市環境保全推進協議会など事業者が構成員となる団体等を通じて、事業者の環境への意識の高揚を図る。	市民環境課
公共工事等における建設機械の排出ガス抑制	公共工事等に使用する建設機械について、排出ガス量を削減するために、排出ガス対策型の使用を促す。（再掲 1-1①）	各課等

## 施策③自動車排出ガス対策

### 【施策の方針】

- ・エコドライブの啓発
- ・エコカー（ハイブリッド自動車、電気自動車等）の普及
- ・道路沿道緑化の推進

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
エコドライブの普及	ふんわりアクセルやアイドリングストップ、加減速の少ない運転など、環境にやさしい運転に取り組む。（再掲 1-1①）	市民環境課
エコカーの導入	市の率先行動として、公用車の更新時にエコカーの導入を進める。（再掲 1-1①）	各課等
都市公園、緑地の樹木保守管理	都市公園等の樹木の剪定等を行い適切に管理する。	土地利用課

## 環境分野 2-2 水の環境

水環境は、公共用水域水質調査結果を基に、海域では大船渡湾、綾里湾、越喜来湾及び吉浜湾の、河川では盛川、吉浜川等の水質監視を行っています。

このうち大船渡湾は閉鎖性海域の地理的特性を持ち、湾奥部でCODが環境基準値を超過する傾向にあることから、今後も県と共同で策定した「大船渡湾水環境保全計画」に基づき、適正な水質保全に向けた取組を進めます。

### (1) 基本方針と達成目標

#### 【基本方針】

恵み豊かな水の環境を守ります

#### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
盛川権現堂橋のBOD	<0.5 mg/ℓ(令和2年度※)	環境基準(2.0 mg/ℓ)以下
盛川佐野橋のBOD	<0.5 mg/ℓ( " )	"
盛川川口橋のBOD	<0.5 mg/ℓ( " )	"
立根川のBOD	0.5 mg/ℓ( " )	"
吉浜川のBOD	<0.5 mg/ℓ( " )	"
大船渡湾湾奥のCOD	1.9 mg/ℓ( " )	"
大船渡湾湾中央のCOD	1.8 mg/ℓ( " )	"
大船渡湾湾口のCOD	1.3 mg/ℓ( " )	"
大船渡湾の全窒素(湾奥)	0.36 mg/ℓ( " )	環境基準(0.3 mg/ℓ)以下
大船渡湾の全リン(湾奥)	0.025 mg/ℓ( " )	環境基準(0.03 mg/ℓ)以下
綾里湾湾奥のCOD	1.0 mg/ℓ( " )	環境基準(2.0 mg/ℓ)以下
綾里湾湾口のCOD	0.9 mg/ℓ( " )	"
越喜来湾湾奥のCOD	1.0 mg/ℓ( " )	"
越喜来湾湾中央のCOD	1.0 mg/ℓ( " )	"
吉浜湾湾奥のCOD	1.2 mg/ℓ( " )	"
吉浜湾湾中央のCOD	1.2 mg/ℓ( " )	"
汚水処理人口普及率	75.8%	95.4%

※令和3年度現在値については、公表年度等の都合により、( )内の年度の数値を記載しています。

### (2) 施策の方針と取組

#### 施策①水環境の監視・汚濁事故対策

##### 【施策の方針】

- ・ 公共用水域の水質監視
- ・ 測定結果の公表
- ・ 水質汚濁事故の未然防止
- ・ 水質汚濁事故発生時の拡大防止

【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
公共用水域水質定期監視	公共用水域（海域、河川等）の水質の状況を確認し、公表する。	市民環境課
環境関連調査事業	大船渡湾内、河川などの水質調査を実施する。	市民環境課
衛生監視員による指導・監視	定期的にパトロールを実施し、不法投棄や排水等の監視及び指導を行う。	市民環境課
公害苦情処理	水質汚濁、不法投棄、悪臭、騒音等に係る市民相談に対応し、関係機関と連携を図りながら、必要な調査、助言等を行う。（再掲 2-1①）	市民環境課
大船渡浄化センター等水質分析業務	大船渡浄化センターや漁業集落排水処理施設の放流水の水質について、通年で定期検査を実施する。	下水道事業所
三陸町養殖海域の水質調査事業	漁場の保全と今後の水産振興に寄与することを目的として、三陸地区養殖海域の水質調査を実施する。	水産課
気仙広域連合衛生センター水質分析業務	気仙広域連合衛生センターの放流水の水質について、通年で定期検査を実施する。	市民環境課（気仙広域連合）
「大船渡市の環境」の作成	市内における環境の現状と対策（主として公害関連）等についてまとめ、隔年で公表する。（再掲 2-1①）	市民環境課
伐採及び伐採後の造林の届出受付	森林の立木の伐採行為の実態を把握するとともに、市森林整備計画に適合した伐採や造林が行われるよう指導する。また、林地開発行為（1ha超）に該当する場合、県への届出を指導する。	農林課
水質汚濁事故防止対策	関係機関と連携し、油・化学物質等による水質汚濁事故の未然防止のため、設備点検等の周知を図る。油流出事故が発生した際は、釜石海上保安部等の関係機関と連携し、適切な処理による水質汚濁の拡大防止に努める。	市民環境課

施策②生活系排水対策

【施策の方針】

- ・ 公共下水道未普及地域における整備
- ・ 集落排水施設の維持管理や合併処理浄化槽の設置促進
- ・ 水洗化の促進
- ・ 生活雑排水対策に関する啓発

【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
公共下水道事業	公共用水域の水質の保全と生活環境改善のため、大船渡市公共下水道基本計画に基づき下水道の整備を進めるとともに、施設を適正に維持管理する。	下水道事業所
漁業集落排水処理事業	漁港及び海域の水質の保全と生活環境改善のため、施設を適正に維持管理する。	下水道事業所
浄化槽設置整備事業	公共用水域の水質の保全と生活環境改善のため、浄化槽設置者に対する助成を行う。	下水道事業所
水洗化改造資金のあっせん	下水道供用開始区域の水洗化普及のため、改造資金の融資あっせんと利子補給を実施する。	下水道事業所
都市公園園路等バリアフリー化・トイレ水洗化事業	安全で安心できる公園づくりの一環として、公園入口の段差解消と老朽トイレ（くみ取り式）の水洗化工事を実施する。	土地利用課

主な事業・取組	内 容	担当課
下水道（水質浄化）に対する住民意識の啓発	大船渡浄化センター施設見学会、各種イベント、下水道供用開始に係る説明会等を通じて下水道や水質浄化に関するPR活動を実施する。	下水道事業所
環境衛生図書展	環境衛生週間や食品ロス削減月間等に合わせ、地球温暖化対策、水環境保全、ごみの減量化やリサイクルなど、環境について考える機会として図書展を開催する。（再掲 1-1①）	市民環境課
使用済食用油の回収	家庭から出る使用済食用油を市役所等公共施設で回収することで、油を排水溝へ流すことによる水質汚濁等を防ぐとともに、回収した油はバイオディーゼル燃料を作る業者へ引き渡してリサイクルする。（再掲 1-1①）	市民環境課

### 施策③産業系排水対策

#### 【施策の方針】

- ・水質汚濁防止法等諸法令に基づく指導
- ・法令による規制を受けない小規模事業場への指導
- ・環境汚染防止に関する意識啓発

#### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
環境パトロール	公害苦情の発生原因となった事業場等を対象に、県と連携して環境パトロールを実施する。（再掲 2-1②）	市民環境課
工場、事業場等への立入調査	環境に関する諸法令を遵守しているかを確認するため、県と連携して立入調査を実施し、必要に応じて指導する。（再掲 2-1②）	市民環境課
岩石採取計画の認可	岩石採取計画の認可の際、水質汚濁、騒音等に係る災害防止措置が適正に講じられているか確認し、必要に応じて指導する。	商工課
公共下水道事業	公共用水域の水質の保全と生活環境改善のため、大船渡市公共下水道基本計画に基づき下水道の整備を進めるとともに、施設を適正に維持管理する。（再掲 2-2②）	下水道事業所
環境保全協定締結の推進	環境の保全と公害の未然防止を図るとともに、事業者が自主的に環境への負荷を低減するよう環境保全協定の締結を推進する。（再掲 2-1②）	市民環境課
事業者環境意識啓発事業	大船渡市環境保全推進協議会など事業者が構成員となる団体等を通じて、事業者の環境への意識の高揚を図る。（再掲 2-1②）	市民環境課

### 施策④水源保全・水質浄化

#### 【施策の方針】

- ・大船渡湾の水質浄化対策
- ・海洋ごみ対策
- ・森林や農地等の公益的機能の向上・保全に向けた適正な管理・整備
- ・水質保全に関する啓発

【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
大船渡湾水環境保全計画の推進	大船渡湾の水質浄化対策等について、「大船渡湾水環境保全計画」に基づき、県と共同で関連事業を総合的に推進する。	市民環境課
環境保全協定締結の推進	環境の保全と公害の未然防止を図るとともに、事業者が自主的に環境への負荷を低減するよう環境保全協定の締結を推進する。(再掲 2-1②)	市民環境課
環境関連調査事業	大船渡湾内、河川などの水質調査を実施する。(再掲 2-2①)	市民環境課
浄化槽設置整備事業	公共用水域の水質の保全と生活環境改善のため、浄化槽設置者に対する助成を行う。(再掲 2-2②)	下水道事業所
漁業集落排水処理事業	漁港及び海域の水質の保全と生活環境改善のため、施設を適正に維持管理する。(再掲 2-2②)	下水道事業所
公共下水道事業	公共用水域の水質の保全と生活環境改善のため、大船渡市公共下水道基本計画に基づき下水道の整備を進めるとともに、施設を適正に維持管理する。(再掲 2-2②)	下水道事業所
下水道(水質浄化)に対する住民意識の啓発	大船渡浄化センター施設見学会、各種イベント、下水道供用開始に係る説明会等を通じて下水道や水質浄化に関するPR活動を実施する。(再掲 2-2②)	下水道事業所
都市公園園路等バリアフリー化・トイレ水洗化事業	安全で安心できる公園づくりの一環として、公園入口の段差解消と老朽トイレ(くみ取り式)の水洗化工事を実施する。(再掲 2-2②)	土地利用課
気仙広域連合衛生センター水質分析業務	気仙広域連合衛生センターの放流水の水質について、通年で定期検査を実施する。(再掲 2-2①)	市民環境課(気仙広域連合)
湾内ごみ処理事業	清掃船「さんご丸」を定期的に運航し、大船渡湾内の漂流ごみ等の除去・処分を行う。	市民環境課
漁場環境保全事業	低気圧等により漁場・漁港に流入した漂流ごみ等の除去・処分を行い、漁場環境を保全する。	水産課
市有林整備事業	森林を保全するため、市有林の間伐等を実施し、林床への植物の生育を促すとともに、水源かん養や二酸化炭素の吸収など、森林の公益的機能を発揮させる。(再掲 1-1①)	農林課
水生生物観察事業	河川等の水質保全に対する意識啓発を図るため、水質の指標となる水生生物の生息状況の調査を実施する。	市民環境課
水道に対する住民意識の啓発	浄水場の施設見学(主に小学生)を受け入れ、水道の仕組みなどの情報を提供する。	水道事業所 簡易水道事業所
環境衛生図書展	環境衛生週間や食品ロス削減月間等に合わせ、地球温暖化対策、水環境保全、ごみの減量化やリサイクルなど、環境について考える機会として図書展を開催する。(再掲 1-1①)	市民環境課

## 環境分野 2-3 身近な生活環境

私たちの生活環境を良好な状態に保つためには、環境騒音や振動、悪臭等の状況を調査・把握し、発生源への対策に取り組むことが必要です。

そのため、測定調査、法律に基づく指導、環境意識の啓発などに取り組めます。

### (1) 基本方針と達成目標

#### 【基本方針】

安全で快適な生活環境を守ります

#### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
環境騒音	全ての測定地点で環境基準達成	環境基準を達成する
「全体的にみて、市の環境は良好である」と答えた市民の割合(市民意識調査)	60.8%	65.0%

### (2) 施策の方針と取組

#### 施策①騒音・振動、悪臭対策

##### 【施策の方針】

- ・騒音及び悪臭の把握
- ・騒音規制法等諸法令に基づく指導
- ・環境汚染防止に関する意識の啓発、測定結果の公表

##### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
環境騒音測定	騒音規制法に基づく騒音規制地域の環境基準の達成状況を把握するため、騒音測定を実施する。	市民環境課
自動車騒音常時監視業務	騒音規制法に基づく自動車騒音の環境基準の達成状況を把握するため、騒音測定を実施する。	市民環境課
悪臭実態調査	悪臭苦情の実態を把握するため、必要に応じて悪臭捕集調査を実施する。	市民環境課
公害苦情処理	水質汚濁、不法投棄、悪臭、騒音等に係る市民相談に対応し、関係機関と連携を図りながら、必要な調査、助言等を行う。(再掲 2-1①)	市民環境課
ごみ処理施設における各種環境測定	ごみ処理施設周辺の環境保全に努めるとともに、定期的に施設内の悪臭、振動、騒音等に係る環境測定を実施する。	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
騒音・振動の届出事務	騒音規制法、振動規制法及び県条例に基づく諸届に対し、適切な指導を行う。	市民環境課
環境パトロール	公害苦情の発生原因となった事業場等を対象に、県と連携して環境パトロールを実施する。(再掲 2-1②)	市民環境課
環境保全協定締結の推進	環境の保全と公害の未然防止を図るとともに、事業者が自主的に環境への負荷を低減するよう環境保全協定の締結を推進する。(再掲 2-1②)	市民環境課
工場、事業場等への立入調査	環境に関する諸法令を遵守しているかを確認するため、県と連携して立入調査を実施し、必要に応じて指導する。(再掲 2-1②)	市民環境課

主な事業・取組	内 容	担当課
岩石採取計画の認可	岩石採取計画の認可の際、水質汚濁、騒音等に係る災害防止措置が適正に講じられているか確認し、必要に応じて指導する。（再掲 2-2③）	商工課
市道の修繕及び維持管理	安全で快適な市道環境を確保するため、市道及び市道に附帯する道路の照明を設置するとともに、歩道、交通安全施設、側溝等の修繕及び維持管理を実施する。	建設課
「大船渡市の環境」の作成	市内における環境の現状と対策（主として公害関連）等についてまとめ、隔年で公表する。（再掲 2-1①）	市民環境課
事業者環境意識啓発事業	大船渡市環境保全推進協議会など事業者が構成員となる団体等を通じて、事業者の環境への意識の高揚を図る。（再掲 2-1②）	市民環境課

## 施策②有害化学物質等対策

### 【施策の方針】

- ・有害化学物質による環境汚染の実態把握
- ・化学物質による土壌・地下水汚染への対策
- ・事業者の自主的な排出抑制対策のための情報の提供
- ・放射線量の公表

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
有害化学物質調査	関係機関と連携し、有害化学物質による環境汚染の状況の把握に努める。	市民環境課
公害苦情処理	水質汚濁、不法投棄、悪臭、騒音等に係る市民相談に対応し、関係機関と連携を図りながら、必要な調査、助言等を行う。（再掲 2-1①）	市民環境課
廃棄物埋立処分場管理運営事業	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、廃棄物埋立処分場を適切に管理運営する。	市民環境課
水質汚濁事故防止対策	関係機関と連携し、油・化学物質等による水質汚濁事故の未然防止のため、設備点検等の周知を図る。油流出事故が発生した際は、釜石海上保安部等の関係機関と連携し、適切な処理による水質汚濁の拡大防止に努める。（再掲 2-2①）	市民環境課
「大船渡市の環境」の作成	市内における環境の現状と対策（主として公害関連）等についてまとめ、隔年で公表する。（再掲 2-1①）	市民環境課
事業者環境意識啓発事業	大船渡市環境保全推進協議会など事業者が構成員となる団体等を通じて、事業者の環境への意識の高揚を図る。（再掲 2-1②）	市民環境課
生活空間における放射線量の公表	県が調査した市内の放射線量の状況を公表する。	市民環境課

## 基本目標 3

## 生物多様性を確保し人と自然が共生できるまちをめざします

本市は、恵み豊かな里地・里山・里海を有し、そこには多種多様な動植物による自然生態系が形成されています。

このような自然生態系を保全するとともに、自然景観や文化財を観光資源として活用するなど、人と自然が共生できるまちを目指します。

### 【関連するSDGs】



### 環境分野 3-1 自然生態系

自然生態系を保全するためには、森林や水辺等の動植物が生息・生育する環境の状況を把握するとともに、森林整備や水質保全を行うことが必要となります。

また、農作物被害防止のための計画的な有害鳥獣対策や、既存の自然生態系に影響を及ぼす外来生物への対策が必要であり、自然との共生を図りながら各種施策を推進します。

#### (1) 基本方針と達成目標

##### 【基本方針】

動植物が生息・生育する豊かな自然を守ります

##### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
間伐実施面積	28.9ha(単年度) 488.62ha(累計)	596ha(累計)
自然観察会等自然環境の把握に係る行事への参加人数	96人	150人

#### (2) 施策の方針と取組

##### 施策①希少な自然の保護

##### 【施策の方針】

- ・野生動植物の生息・生育環境の保全
- ・自然環境に関する情報等の提供と保護意識の啓発
- ・自然環境の調査・研究

##### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
水生生物観察事業	河川等の水質保全に対する意識啓発を図るため、水質の指標となる水生生物の生息状況の調査を実施する。(再掲 2-2④)	市民環境課
自然公園保護管理員設置	自然公園内の自然景観及び動植物の保護と適正な利用を図るため、区域内を巡回して、公園保全の措置等を実施する。	観光交流推進室
自然観察会	自然観察の方法を学びながら併せて自然保護を啓発するため、海辺の生物観察会、植物観察会、地質観察会などを実施する。	市立博物館



## 施策②里地・里山・里海の保全

### 【施策の方針】

- ・ 森林や農地等の公益的機能の向上・保全に向けた適正な管理・整備と情報の提供
- ・ 環境に配慮した農林漁業促進に向けた啓発

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
都市緑地除草・剪定	盛川河川敷公園を適切に管理し、環境と景観を維持するため、除草等を実施する。	土地利用課
盛川筋河川維持管理	盛川筋兩岸の法面の草刈りを実施する。	土地利用課
都市公園、緑地の樹木保守管理	都市公園等の樹木の剪定等を行い適切に管理する。(再掲 2-1③)	土地利用課
市有林整備事業	森林を保全するため、市有林の間伐等を実施し、林床への植物の生育を促すとともに、水源かん養や二酸化炭素の吸収など、森林の公益的機能を発揮させる。(再掲 1-1①)	農林課
事業者環境意識啓発事業	大船渡市環境保全推進協議会など事業者が構成員となる団体等を通じて、事業者の環境への意識の高揚を図る。(再掲 2-1②)	市民環境課

## 施策③有害鳥獣・外来生物対策

### 【施策の方針】

- ・ 有害鳥獣に関する調査研究と適正な個体数管理
- ・ 特定外来生物等への対策

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
鳥獣被害対策事業	ニホンジカ等の有害鳥獣による農林業被害を低減するため、捕獲や防護網の設置等の被害防止対策を実施する。	農林課
外来生物の監視	自然生態系や人の生命・身体、農林漁業へ被害を及ぼすと考えられる「特定外来生物」に指定されている動植物等の生息状況を把握し、適切な対応について周知する。	市民環境課

## 環境分野 3-2 景観資源・身近な緑

本市の歴史的資源や森林・海岸等の自然景観を保全しながら、観光等の資源として活用を図ります。また、市民の憩いの場である都市公園等の維持管理を行います。

### (1) 基本方針と達成目標

#### 【基本方針】

自然や歴史的資源を生かした景観の保全と活用を進めます

#### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
「きれいな空気、緑や自然が多く残っている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	83.6%	86.0%

### (2) 施策の方針と取組

#### 施策①自然景観・歴史的資源の活用

##### 【施策の方針】

- ・ 自然環境を生かした観光地の環境保全
- ・ 文化財の調査研究、保護・活用等の推進
- ・ 個性ある景観づくりへの歴史的資源の活用
- ・ 指定文化財の整備活用

##### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
三陸ジオパークの推進	三陸ジオパーク推進協議会への参画を通して、日本ジオパーク再認定及び普及に向けた活動を展開する。また、三陸ジオパークけせん地域協議会の活動を通して、けせん地域におけるジオパークの推進を図る。	観光交流推進室
緑の基本計画の推進	緑地保全と緑化推進の方向性を示した「大船渡市緑の基本計画」を推進する。	土地利用課
都市緑地除草・剪定	盛川河川敷公園を適切に管理し、環境と景観を維持するため、除草等を実施する。(再掲 3-1②)	土地利用課
盛川筋河川維持管理	盛川筋兩岸の法面の草刈りを実施する。(再掲 3-1②)	土地利用課
都市公園、緑地の樹木保守管理	都市公園等の樹木の剪定等を行い適切に管理する。(再掲 2-1③)	土地利用課
自然観察会	自然観察の方法を学びながら併せて自然保護を啓発するため、海辺の生物観察会、植物観察会、地質観察会などを実施する。(再掲 3-1①)	市立博物館
文化財めぐり	遺跡や天然記念物の見学会を開催し、文化財愛護思想の啓発を図る。	教育総務課
天然記念物樹勢回復	天然記念物に指定されている樹木の保存のため、緊急性の高いものについて樹勢回復等の処置を行う。	教育総務課

## 施策②緑化の普及・啓発

### 【施策の方針】

- ・都市公園の適切な維持管理
- ・市街地の緑化の推進
- ・緑化に関する情報提供

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
都市公園、緑地の樹木保守管理	都市公園等の樹木の剪定等を行い適切に管理する。(再掲 2-1③)	土地利用課
緑の基本計画の推進	緑地保全と緑化推進の方向性を示した「大船渡市緑の基本計画」を推進する。(再掲 3-2①)	土地利用課
環境衛生図書展	環境衛生週間や食品ロス削減月間等に合わせ、地球温暖化対策、水環境保全、ごみの減量化やリサイクルなど、環境について考える機会として図書展を開催する。(再掲 1-1①)	市民環境課

## 基本目標 4

## 地球環境に配慮したきれいで資源が循環していくまちをめざします

一般に、これまでの経済効率・利便性等の追求のため資源を「使い捨て」にする社会経済活動は、天然資源の枯渇や資源採取に伴う環境破壊、廃棄物の大量発生等、環境に対し様々な悪影響を引き起こしてきたと言われていています。

限りある資源を有効に使うため、第2次計画で実践してきた「3R」に、ごみになるものを断る「Refuse: リフューズ」を加えた「4R」を実践し、ごみの発生抑制及び再生利用を推進するとともに、一人一人がまちの環境美化に取り組み、環境に配慮したきれいで資源が循環していくまちを目指します。

### 【関連するSDGs】



### 環境分野 4-1 廃棄物・リサイクル

限りある資源を有効に利用し、環境負荷をできるだけ少なくする循環型社会を形成するため、ごみの減量化及び資源リサイクルの取組を推進します。

市民・事業所アンケート調査でも、「環境問題を解決するために必要な環境保全施策」として、「食品ロス削減などごみの発生抑制、リサイクルによる再資源化を行い、ごみの減量化を推進する」と回答した割合が市民では57.2%、事業所では58.5%となっています(29ページ図2-12)。

#### (1) 基本方針と達成目標

##### 【基本方針】

循環型社会の形成に向けごみ減量化や資源のリサイクルを進めます

##### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
市民1人1日当たりごみ排出量*	651g	633g
市民1人1日当たりリサイクルできた古紙、ビン、カン、鉄くずの量	78g	89g

※市民1人1日当たりごみ排出量は、家庭系ごみ(資源ごみを除く)の量となります。

#### (2) 施策の方針と取組

##### 施策① 4Rの推進

##### 【施策の方針】

- ・ 4Rに関する情報の提供と意識啓発
- ・ ごみの適正な分別・処理の推進
- ・ ごみの再資源化の検討
- ・ 市民によるごみの減量化・再資源化に関する活動への支援
- ・ 市の業務におけるごみの減量化・再資源化の推進

## 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
4 Rの啓発	ごみを減らすための取組である4 Rの市民意識の高揚を図るため、情報提供等啓発活動を行う。	市民環境課
容器包装リサイクル法等に基づく分別収集	缶類やびん類の分別収集を実施するとともに、対象品目の拡大について検討し、リサイクルを推進する。	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
資源古紙及び使用済小型家電製品の回収	資源古紙(新聞、雑誌、ダンボール等)及び使用済小型家電製品(金属類、プラスチック類)の回収を行い、リサイクルを推進する。	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
再利用ごみ分別収集事業	家庭から排出されるプラスチック類などを「再利用ごみ」として分別・収集し、これらを再資源化する取組を実施する。また、再資源化の取組の促進について検討していく。	市民環境課
ごみ減量化・リサイクル啓発事業	ごみ減量化やリサイクルの普及に関する啓発記事を随時、広報紙等へ掲載する。(再掲 1-1①)	市民環境課
マイバッグ推進キャンペーン	流通から消費までの各段階における、ごみと温室効果ガスの発生を防ぐ取組として、マイバッグの活用及びレジ袋の削減を、市民、各種団体、市内小売事業者及び市が協力し推進する。(再掲 1-1①)	市民環境課
汚泥のリサイクル	大船渡浄化センターや衛生センターなど、汚水やし尿処理の過程で発生した汚泥の資源化を行う。	市民環境課(気仙広域連合) 下水道事業所
清掃美化運動推進事業	市公衆衛生組合連合会を通じて電動生ごみ処理機の購入補助事業を実施し、ごみの減量化や資源化を推進する。また、各地域公民館等の団体が行うごみステーションの設置、ごみ減量化やリサイクル等の実践活動に対し、補助金を交付する。	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
集団資源回収団体への奨励金交付事業	地域のリサイクル活動を推進するため、資源回収活動を実施した団体に対し、回収量に応じて奨励金を交付する。	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
使用済食用油の回収	家庭から出る使用済食用油を市役所等公共施設で回収することで、油を排水溝に流すことによる水質汚濁等を防ぐとともに、回収した油はバイオディーゼル燃料を作る業者へ引き渡してリサイクルする。(再掲 1-1①)	市民環境課
地球温暖化対策推進実行計画の推進	市の事務事業により生じる温室効果ガス排出量の削減に係る取組を進める。(再掲 1-1①)	市民環境課

## 4Rとは？

4R は、ごみを減らすための取組である Refuse「リフューズ」、Reduce「リデュース」、Reuse「リユース」、Recycle「リサイクル」の頭文字から4Rと呼んでいます。

- Refuse「リフューズ」：ごみになるものを断る  
マイバッグの利用により、レジ袋を断る、過剰包装を断るなど。
- Reduce「リデュース」：ごみになるものを減らす  
食材の買い過ぎによる食品ロスをなくす、詰め替えできる商品を選ぶなど。
- Reuse「リユース」：繰り返し使う  
ものを修理して長く使う、リサイクルショップを活用するなど。
- Recycle「リサイクル」：再生利用する  
ごみを分別し資源回収に出す、再生原料を利用した商品を選ぶなど。

## 施策②廃棄物の適正処理

### 【施策の方針】

- ・ 廃棄物・災害廃棄物の適正処理

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
廃棄物埋立処分場管理運営事業	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、廃棄物埋立処分場を適切に管理運営する。(再掲 2-3②)	市民環境課
廃棄物処理施設管理運営事業	ごみ処理施設を適切に管理・運営し、ごみの収集、中間処理及び最終処分を行う。	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
	ごみ処理施設を適切に管理・運営し、ごみの熔融処理と溶融物の再資源化を行う。	市民環境課(沿岸南部広域環境組合)
	し尿処理施設を適切に管理・運営し、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行う。	市民環境課(気仙広域連合)
再利用ごみ分別収集事業	家庭から排出されるプラスチック類などを「再利用ごみ」として分別・収集し、これらを再資源化する取組を実施する。また、再資源化の取組の促進について検討していく。(再掲 4-1①)	市民環境課
衛生監視員による指導・監視	定期的にパトロールを実施し、不法投棄や排水等の監視及び指導を行う。(再掲 2-2①)	市民環境課
湾内ごみ処理事業	清掃船「さんご丸」を定期的に運航し、大船渡湾内の漂流ごみ等の除去・処分を行う。(再掲 2-2④)	市民環境課
漁場環境保全事業	低気圧等により漁場・漁港に流入した漂流ごみ等の除去・処分を行い、漁場環境を保全する。(再掲 2-2④)	水産課
公共工事等におけるリサイクル促進	公共工事等に使用する砕石及びアスファルト合材について、再生材を使用する。また、コンクリートガラ及びアスファルトガラについては、再生材として利用するため産業廃棄物処分場に運搬する。	各課等
清掃美化運動推進事業	市公衆衛生組合連合会を通じて電動生ごみ処理機の購入補助事業を実施し、ごみの減量化や資源化を推進する。また、各地域公民館等の団体が行うごみステーションの設置、ごみ減量化やリサイクル等の実践活動に対し、補助金を交付する。(再掲 4-1①)	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
容器包装リサイクル法等に基づく分別収集	缶類やびん類の分別収集を実施するとともに、対象品目の拡大について検討し、リサイクルを推進する。(再掲 4-1①)	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
資源古紙及び使用済小型家電製品の回収	資源古紙(新聞、雑誌、ダンボール等)及び使用済小型家電製品(金属類、プラスチック類)の回収を行い、リサイクルを推進する。(再掲 4-1①)	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
集団資源回収団体への奨励金交付事業	地域のリサイクル活動を推進するため、資源回収活動を実施した団体に対し、回収量に応じて奨励金を交付する。(再掲 4-1①)	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
災害廃棄物の適正処理	大船渡市地域防災計画、大船渡市災害廃棄物処理マニュアル等に基づき、災害廃棄物を適正に処理する。	市民環境課 各課等

## 環境分野 4-2 環境美化

きれいな生活環境を保つには、環境を保全するという共通認識の下、みんなで環境美化に取り組む必要があります。

市民アンケート調査では、環境保全活動への取組参加意向について、「積極的に参加したいと思う」と「何かきっかけがあれば参加したいと思う」と回答した割合が 59.4%となっています（90 ページ問7）。

これらのことから、市民が参加しやすい環境保全活動の取組を推進します。

### （1）基本方針と達成目標

#### 【基本方針】

きれいなまちを保つため環境美化を進めます

#### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
市内一斉清掃参加率	22.4%	24.0%

### （2）施策の方針と取組

#### 施策①美化活動の推進

##### 【施策の方針】

- ・市民総参加による環境美化、公衆衛生活動の推進
- ・各種団体との協力による環境美化運動の推進
- ・環境美化・公衆衛生活動団体に対する支援
- ・不法投棄の防止対策の推進

##### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
市内一斉清掃	快適な生活環境を確保するため、市民総参加により、一斉清掃を実施する。	市民環境課
市内一斉クリーン作戦	きれいで明るいまちづくりのため、各地区・地域で清掃美化活動を実施する。	市民環境課
大船渡市公衆衛生組合連合会運営事業	市内各地域の単位組合で組織する市公衆衛生組合連合会が実践する環境美化活動を推進する。	市民環境課
都市公園維持管理	市内都市公園のトイレ清掃、敷地内清掃を実施する。	土地利用課
清掃美化運動推進事業	市公衆衛生組合連合会を通じて電動生ごみ処理機の購入補助事業を実施し、ごみの減量化や資源化を推進する。また、各地域公民館等の団体が行うごみステーションの設置、ごみ減量化やリサイクル等の実践活動に対し、補助金を交付する。（再掲 4-1①）	市民環境課（大船渡地区環境衛生組合）
集団資源回収団体への奨励金交付事業	地域のリサイクル活動を推進するため、資源回収活動を実施した団体に対し、回収量に応じて奨励金を交付する。（再掲 4-1①）	市民環境課（大船渡地区環境衛生組合）
湾内ごみ処理事業	清掃船「さんご丸」を定期的に運航し、大船渡湾内の漂流ごみ等の除去・処分を行う。（再掲 2-2④）	市民環境課
不法投棄廃棄物処理事業	不法投棄廃棄物の撤去及び処分を行う。	市民環境課

主な事業・取組	内 容	担当課
廃棄物の不法投棄防止事業	不法投棄の未然防止のため、市公衆衛生組合連合会や市環境保全推進協議会と連携し、看板や防止ネットの設置を行う。	市民環境課
環境衛生図書展	環境衛生週間や食品ロス削減月間等に合わせ、地球温暖化対策、水環境保全、ごみの減量化やリサイクルなど、環境について考える機会として図書展を開催する。(再掲 1-1①)	市民環境課
衛生監視員による指導・監視	定期的にパトロールを実施し、不法投棄や排水等の監視及び指導を行う。(再掲 2-2①)	市民環境課



## 基本目標 5

## 協働による環境保全に取り組むまちをめざします

環境問題は、気候変動への対応、生活環境の保全、自然との共生、資源の循環的利用等多岐にわたっています。

また、環境問題は社会経済活動と密接に関連しており、その課題解決のためには、市民、事業者、市の協働による取組が必要です。

望ましい環境像を実現するため、市民・事業者・市が一体となって環境への理解を深め、環境保全活動に取り組むまちを目指します。

### 【関連するSDGs】



### 環境分野 5-1 環境教育・環境学習

市民や事業者が自発的に環境問題に取り組むためには、市民一人一人が環境への関心を持ち、理解を深めることが必要です。

環境問題や地域の自然環境等を学ぶことは、環境意識の高揚につながることから、環境教育・環境学習の機会づくりや情報提供を行い、人材育成を図ります。

#### (1) 基本方針と達成目標

##### 【基本方針】

環境への理解と意識を高めます

##### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
「環境にやさしい商品を選んで購入している」と答えた市民の割合(市民意識調査)	15.0%	53.0%
青少年の環境保全実践活動等参加団体数	4団体	15団体

#### (2) 施策の方針と取組

##### 施策①環境教育の推進

##### 【施策の方針】

- ・学校教育活動を通じた環境教育の推進
- ・地区公民館等が中心となった地域環境教育の推進
- ・市民への環境に対する意識の啓発
- ・事業者への環境汚染防止等に関する意識の啓発

##### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
水生生物観察事業	河川等の水質保全に対する意識啓発を図るため、水質の指標となる水生生物の生息状況の調査を実施する。(再掲 2-2④)。	市民環境課
海づくり少年団育成事業	海づくり少年団が実施する漁業体験学習等の活動を支援する。	水産課

主な事業・取組	内 容	担当課
水道に対する住民意識の啓発	浄水場の施設見学(主に小学生)を受け入れ、水道の仕組みなどの情報を提供する。(再掲 2-2④)	水道事業所 簡易水道事業所
下水道(水質浄化)に対する住民意識の啓発	大船渡浄化センター施設見学会、各種イベント、下水道供用開始に係る説明会等を通じて下水道や水質浄化に関するPR活動を実施する。(再掲 2-2②)	下水道事業所
一般廃棄物処理施設の施設見学受入れ	岩手沿岸南部クリーンセンター、大船渡地区クリーンセンターの施設紹介とともに、環境保全についての意識啓発のため、施設見学の受入れを積極的に行う。	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
気仙広域連合衛生センター施設見学の受入れ	施設の紹介とともに、湾浄化等環境保全についての意識啓発のため、施設見学の受入れを積極的に行う。	市民環境課(気仙広域連合)
岩手県環境アドバイザー事業の活用	県が行う環境アドバイザー(環境保全についての有識者、活動実践者等)派遣事業を研修会等に活用する。	市民環境課
市民講座等の開催	市民の学習要求に応じて、自然科学、歴史、文学、環境分野等に関する講座を実施する。	中央公民館
環境衛生図書展	環境衛生週間や食品ロス削減月間等に合わせ、地球温暖化対策、水環境保全、ごみの減量化やリサイクルなど、環境について考える機会として図書展を開催する。(再掲 1-1①)	市民環境課
ごみ減量化・リサイクル啓発事業	ごみ減量化やリサイクルの普及に関する啓発記事を随時、広報紙等へ掲載する。(再掲 1-1①)	市民環境課
文化財めぐり	遺跡や天然記念物の見学会を開催し、文化財愛護思想の啓発を図る。(再掲 3-2①参照)	教育総務課
自然観察会	自然観察の方法を学びながら併せて自然保護を啓発するため、海辺の生物観察会、植物観察会、地質観察会などを実施する。(再掲 3-1①)	市立博物館
大船渡市環境保全推進協議会運営事業	行政機関、各種団体、事業者等が相互に協調し、環境、公害防止等に関する知識と技術の向上、交流、実践事業を通じ、快適な環境づくりを推進する。	市民環境課

## 施策②人材育成と情報提供

### 【施策の方針】

- ・ 環境に関する研修会等の開催
- ・ 環境教育・環境学習に役立つ地域環境情報の収集・整理・提供

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
環境に関する研修会の開催	各種団体向けに環境保全や地球温暖化対策、リサイクルなどに関する研修会を開催する。(再掲 1-1①)	市民環境課
ホームページ等を利用した環境活動情報の提供	地域における環境美化などの活動や、地球温暖化対策など環境問題への取組を理解してもらうため、ホームページ等を利用して、情報を提供する。	市民環境課
水道に対する住民意識の啓発	浄水場の施設見学(主に小学生)を受け入れ、水道の仕組みなどの情報を提供する。(再掲 2-2④)	水道事業所 簡易水道事業所
下水道(水質浄化)に対する住民意識の啓発	大船渡浄化センター施設見学会、各種イベント、下水道供用開始に係る説明会等を通じて下水道や水質浄化に関するPR活動を実施する。(再掲 2-2②)	下水道事業所
一般廃棄物処理施設の施設見学受入れ	岩手沿岸南部クリーンセンター、大船渡地区クリーンセンターの施設紹介とともに、環境保全についての意識啓発のため、施設見学の受入れを積極的に行う。(再掲 5-1①)	市民環境課(大船渡地区環境衛生組合)
気仙広域連合衛生センター施設見学の受入れ	施設の紹介とともに、湾浄化等環境保全についての意識啓発のため、施設見学の受入れを積極的に行う。(再掲 5-1①)	市民環境課(気仙広域連合)

## 環境分野5-2 環境保全活動・環境配慮

協働による環境保全活動・環境配慮行動を実践するため、市民・事業者は環境問題についての正しい理解を得る必要があります。

55 ページで述べたとおり、市民アンケート調査では環境保全活動への取組参加意向について、積極的な市民が多いことがうかがえます（90 ページ問7）。

市民・事業者への環境意識啓発と情報提供、環境保全活動を行う各種団体への支援等を行い、環境に配慮した行動を促進します。

### （1）基本方針と達成目標

#### 【基本方針】

協働による環境保全を実践します

#### 【達成目標】

項目	令和3年度現在	令和14年度目標
清掃ボランティア活動団体数	10 団体	15 団体
環境配慮団体・事業所数	9 団体・事業所	20 団体・事業所

### （2）施策の方針と取組

#### 施策①環境保全活動の推進

#### 【施策の方針】

- ・環境保全活動を行う団体に対する支援
- ・環境保全活動への参加意識の啓発

#### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
大船渡市公衆衛生組合連合会運営事業	市内各地域の単位組合で組織する市公衆衛生組合連合会が実践する環境美化活動を推進する。（再掲 4-2①）	市民環境課
市内一斉清掃	快適な生活環境を確保するため、市民総参加により、一斉清掃を実施する。（再掲 4-2①）	市民環境課
市内一斉クリーン作戦	きれいで明るいまちづくりのため、各地区・地域で清掃美化活動を実施する。（再掲 4-2①）	市民環境課
清掃美化運動推進事業	市公衆衛生組合連合会を通じて電動生ごみ処理機の購入補助事業を実施し、ごみの減量化や資源化を推進する。また、各地域公民館等の団体が行うごみステーションの設置、ごみ減量化やリサイクル等の実践活動に対し、補助金を交付する。（再掲 4-1①）	市民環境課（大船渡地区環境衛生組合）
海づくり少年団育成事業	海づくり少年団が実施する漁業体験学習等の活動を支援する。（再掲 5-1①）	水産課
環境衛生図書展	環境衛生週間や食品ロス削減月間等に合わせ、地球温暖化対策、水環境保全、ごみの減量化やリサイクルなど、環境について考える機会として図書展を開催する。（再掲 1-1①）	市民環境課
自然観察会	自然観察の方法を学びながら併せて自然保護を啓発するため、海辺の生物観察会、植物観察会、地質観察会などを実施する。（再掲 3-1①）	市立博物館
環境に関する研修会の開催	各種団体向けに環境保全やリサイクルなどに関する研修会を開催する。（再掲 5-1②）	市民環境課

## 施策②日常生活における環境配慮行動の推進

### 【施策の方針】

- ・環境にやさしい暮らしの情報提供と普及啓発

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
エコドライブの普及	ふんわりアクセルやアイドリングストップ、加減速の少ない運転など、環境にやさしい運転に取り組む。(再掲 1-1①)	市民環境課
ごみ減量化・リサイクル啓発事業	ごみ減量化やリサイクルの普及に関する啓発記事を随時、広報紙等へ掲載する。(再掲 1-1①)	市民環境課
マイバッグ推進キャンペーン	流通から消費までの各段階における、ごみと温室効果ガスの発生を防ぐ取組として、マイバックの活用及びレジ袋の削減を、市民、各種団体、市内小売事業者及び市が協力し推進する。(再掲 1-1①)	市民環境課
使用済食用油の回収	家庭から出る使用済食用油を市役所等公共施設で回収することで、油を排水溝に流すことによる水質汚濁等を防ぐとともに、回収した油はバイオディーゼル燃料を作る業者へ引き渡してリサイクルする。(再掲 1-1①)	市民環境課
下水道(水質浄化)に対する住民意識の啓発	大船渡浄化センター施設見学会、各種イベント、下水道供用開始に係る説明会等を通じて下水道や水質浄化に関するPR活動を実施する。(再掲 2-2②)	下水道事業所
水道に対する住民意識の啓発	浄水場の施設見学(主に小学生)を受け入れ、水道の仕組みなどの情報を提供する。(再掲 2-2④)	水道事業所 簡易水道事業所

## 施策③事業活動における環境配慮行動の推進

### 【施策の方針】

- ・事業者への環境汚染防止等に関する意識の啓発
- ・環境保全協定締結の推進
- ・各種産業における環境への配慮の推進

### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
エコ協力店いわでの認定	ごみの減量化やリサイクルの取組を積極的に行う店舗等を、「エコ協力店」として県と共同で認定する。(再掲 1-1①)	市民環境課
エコドライブの普及	ふんわりアクセルやアイドリングストップ、加減速の少ない運転など、環境にやさしい運転に取り組む。(再掲 1-1①)	市民環境課
地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進	市民・事業者・市が一体となって市域における温室効果ガス排出量の削減に係る取組を進める。	市民環境課
大船渡市環境保全推進協議会運営事業	行政機関、各種団体、事業者等が相互に協調し、環境、公害防止等に関する知識と技術の向上、交流、実践事業を通じ、快適な環境づくりを推進する。(再掲 5-1①)	市民環境課
環境保全協定締結の推進	環境の保全と公害の未然防止を図るとともに、事業者が自主的に環境への負荷を低減するよう環境保全協定の締結を推進する。(再掲 2-1②)	市民環境課
公共工事等におけるリサイクル促進	公共工事等に使用する砕石及びアスファルト合材について、再生材を使用する。また、コンクリートガラ及びアスファルトガラについては、再生材として利用するため産業廃棄物処分場に運搬する。(再掲 4-1②)	各課等

主な事業・取組	内 容	担当課
公共工事等における建設機械の排出ガス抑制	公共工事等に使用する建設機械について、排出ガスを削減するために、排出ガス対策型の使用を促す。(再掲 1-1①)	各課等
岩石採取計画の認可	岩石採取計画の認可の際、水質汚濁、騒音等に係る災害防止措置が適正に講じられているか確認し、必要に応じて指導する。(再掲 2-2③)	商工課

#### 施策④開発事業における環境への配慮

##### 【施策の方針】

- ・環境影響評価法及び県条例に基づく環境影響評価制度の適切な運用
- ・都市計画法等諸法令に基づく適切な土地利用の促進

##### 【主な事業・取組】

主な事業・取組	内 容	担当課
環境影響評価制度	事業者が行う環境に大きな影響を及ぼすおそれのある事業について、環境影響評価法等に基づき、意見を提出するなど、制度の適切な運用に努める。	市民環境課

## 第5章 環境についての行動指針

# 第5章 環境についての行動指針

望ましい環境像を実現し、良好な環境を将来の世代に引き継ぐためには、市民、事業者、市が一体となって環境に配慮した行動に取り組む必要があります。

市は、第4章で示したとおり、市民、事業所への環境意識の啓発を図りながら、各施策に取り組むとともに、市民、事業者が、以下に掲げるような行動を自ら実践するよう呼び掛けることとします。

## 基本目標 1 気候変動に対応した持続可能なまちをめざします

### ◎環境分野 1-1 地球温暖化対策

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ こまめに電気を消す、冷暖房の温度を調節するなど、省エネルギー行動に取り組みましょう。
- ・ 省エネルギー型家電や機器を選びましょう。
- ・ 自動車に乗るときはエコドライブを心掛け、二酸化炭素の排出を削減しましょう。
- ・ 自動車は燃費に優れた車種、エコカーを選びましょう。
- ・ 地球温暖化防止の活動に協力、参加しましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ 住宅の新築・増改築時に、高断熱化や高气密化、太陽光発電装置の設置を進めましょう。
- ・ 徒歩、自転車による移動や、公共交通機関の利用を心掛けましょう。
- ・ 買い物の際はマイバッグを利用し、レジ袋を削減しましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 太陽光発電や木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入に取り組みましょう。
- ・ 化石燃料から再生可能エネルギーや合成燃料（二酸化炭素と水素を原材料とする代替燃料）等への転換に取り組みましょう。
- ・ クールビズ・ウォームビズを推進し、省エネルギーに努めましょう。
- ・ 二酸化炭素吸収源となる、植林を推進しましょう。

### ◎環境分野 1-2 気候変動の影響への適応

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 台風による水害等の災害に備え、避難場所の確認や、非常持ち出し用品の準備をしましょう。
- ・ こまめに水分・塩分を補給するとともに、扇風機やエアコンを適切に使用し、熱中症等を予防しましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ 浸水想定区域や避難に関する情報収集に努め、災害に備えましょう。
- ・ 災害時に家族が集合する避難場所について話し合いましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 災害時を想定した避難訓練等を行い、災害に備えましょう。

## 基本目標 2 生活環境が良好な安心して暮らし続けられるまちをめざします

### ◎環境分野 2-1 大気環境

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 自動車に乗るときはエコドライブを心掛け、排出ガスを削減しましょう。
- ・ 自動車は燃費に優れた車種、エコカーを選びましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ 徒歩、自転車による移動や、公共交通機関の利用を心掛けましょう。
- ・ ごみの野外焼却はやめましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 工場・事業所などから発生する大気汚染物質対策に努めましょう。
- ・ 有害な化学物質について、事故発生に備えた安全対策や管理体制を整えましょう。
- ・ 建設機械等について、排ガス対策型の機械を使用しましょう。

### ◎環境分野 2-2 水の環境

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 洗剤やせっけんは、植物由来などの水への影響が少ない商品を使用しましょう。
- ・ 下水道等が整備された地域では速やかな接続に、整備されていない地域では合併処理浄化槽の設置に努めましょう。
- ・ 河川清掃等の活動に協力、参加しましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ 流し台では水切りネットなどを使い、排水時に細かいごみが流れないようにしましょう。
  - ・ 風呂の残り湯を洗濯に利用するなど、節水に努めましょう。
  - ・ 食用油を捨てる際は、市役所等の回収場所へ持ちこむか<sup>※</sup>、市販の油固化剤を使用しましょう。
- ※市は、家庭から出る食用油を市役所、三陸支所、綾里出張所、吉浜出張所、大船渡地区合同庁舎で回収し、軽油の代わりになるバイオディーゼル燃料をつくる業者に引き渡し、リサイクルしています。
- 食用油を排水溝に流すと、魚が生息できる水質にするために大量の水が必要となりますので、回収場所へ持ち込むか、油固化剤で固めてごみに出しましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 工場や事業場への節水型機器の導入、工場用水の循環利用・再利用に努めましょう。
- ・ 事業における排水は排水基準を遵守し、定期的に水質を測定しましょう。
- ・ 工事に伴う土砂や濁水の流出防止に努めましょう。
- ・ 貯油施設、送油施設の定期点検や給油操作ミス防止を徹底し、油類の漏出防止に努めましょう。



## ◎環境分野 2-3 身近な生活環境

### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 騒音・振動や悪臭を出さないよう努めましょう。
- ・ ごみの野外焼却はやめましょう。
- ・ 自動車に乗るときはエコドライブを心掛け、騒音を抑制しましょう。

### 【市民の行動指針】

- ・ 側溝や排水路を清潔に保ち、悪臭の防止に努めましょう。
- ・ 消毒薬や殺虫剤、除草剤などの使用に当たっては、使用方法等に留意し適正に使用しましょう。
- ・ ペットの鳴き声や楽器演奏等の生活騒音について、近隣に配慮しましょう。

### 【事業者の行動指針】

- ・ 工事に伴う振動・騒音等について、工法の工夫や適切な機械の使用により低減に努めましょう。
- ・ 有害な化学物質について、事故発生に備えた安全対策や管理体制を整えましょう。
- ・ 化学物質の排出量削減、代替物質への転換に努めましょう。

## エコドライブを推進しましょう

自動車から排出される排出ガスには、多くの化学物質が含まれており、酸性雨や光化学スモッグなどの大気汚染を引き起こしています。

また、排出ガスに含まれる二酸化炭素は、地球温暖化の原因にもなることから、排気ガスを減らす取組が必要です。

排出ガスを減らすためには、燃料消費量を抑えることが重要であり、急発進・急加速をしないなど、「エコドライブ」を実践しましょう。

### エコドライブ 10 のすすめ

- ① 自分の燃費を把握しよう
- ② ふんわりアクセル「eスタート」
- ③ 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- ④ 減速時は早めにアクセルを離そう
- ⑤ エアコンの使用は適切に
- ⑥ ムダなアイドリングはやめよう
- ⑦ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ⑧ タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ⑨ 不要な荷物はおろそう
- ⑩ 走行の妨げとなる駐車はやめよう

出典：エコドライブ普及連絡会

（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）

## 基本目標3 生物多様性を確保し人と自然が共生できるまちをめざします

### ◎環境分野3-1 自然生態系

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 自然環境保全活動に協力、参加しましょう。
- ・ 希少野生動植物の保護に努めましょう。
- ・ 自然生態系を保全するため、外来生物を持ち込まないようにしましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ ペットの適切な飼育に努め、逃げ出すことがないようにしましょう。
- ・ 高山植物など希少な動植物を持ち帰らないようにしましょう。
- ・ 野生動物から受ける被害を防ぐため、野生動物に餌付けをしないようにしましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 開発行為の際は、動植物や自然環境への影響の抑制に努めましょう。
- ・ 屋外設備機器や建物等の設置に際しては、自然環境に配慮しましょう。

### ◎環境分野3-2 景観資源・身近な緑

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 緑化活動に協力、参加しましょう。
- ・ 歴史的な建物等の保存に協力しましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ 生け垣の設置や庭木の植栽など、緑化を推進しましょう。
- ・ 地域の自然や歴史等を学び、天然記念物や文化財等を保護しましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 敷地や建物周辺の緑化に努めましょう。
- ・ 広告物や屋外設備機器の設置、建物等の改装や新築に際しては、周辺の景観との調和、自然環境や歴史的資源の保全に努めましょう。



越喜来浪板海水浴場



大船渡市浦浜地区緑地広場

## 基本目標4 地球環境に配慮したきれいで資源が循環していくまちをめざします

### ◎環境分野4-1 廃棄物・リサイクル

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ ごみの分別を徹底し、ごみの減量化と再利用に努めましょう。
- ・ 4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）を実践しましょう。
- ・ 食品ロスを削減し、ごみの減量化に努めましょう。
- ・ 再生原料を利用した商品等、環境に配慮した商品の購入を推進しましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ ごみ出しのルールを守りましょう。
- ・ すぐ使う食品を買う際は、商品棚の手前にある、賞味期限の迫ったものを積極的に買う「てまえどり」を推進しましょう。
- ・ 商品を購入する際は簡易包装の商品を選び、過剰包装の辞退に努めましょう。
- ・ 買い物の際はマイバッグを利用し、レジ袋を断りましょう。
- ・ 使い捨てプラスチック（ストロー、スプーンなど）の使用を控えましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 産業廃棄物の減量化、再資源化に取り組みましょう。
- ・ プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づき、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制や再資源化に努めましょう。
- ・ 長寿命化・長期利用、リサイクルを前提とした製品の設計・製造に努めましょう。

### ◎環境分野4-2 環境美化

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 市内一斉清掃やクリーン作戦などの環境美化活動に協力、参加しましょう。
- ・ 所有する土地・建物や近隣の環境美化に努めましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ 地域公民館や公衆衛生組合等と協力して地域の環境美化活動を行いましょ。
- ・ 所有する農地、山林等を定期的に見回り、不法投棄がないか確認しましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 地域の環境美化活動を行いましょ。
- ・ 所有地内に不法投棄がないか定期的確認しましょ。

## 基本目標5 協働による環境保全に取り組むまちをめざします

### ◎環境分野5-1 環境教育・環境学習

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 環境に関する研修会・講座等に参加し、環境について学びましょう。
- ・ 自然観察会等に参加するなど、自然と触れ合いましょう。
- ・ 環境問題に関心を持ち、情報収集に努めましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ 環境について学んだことを、家族・地域・学校等で話し合いましょう。
- ・ 環境問題や地域についての自分の知識や経験を伝え、役立てることに努めましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 従業員に対する環境教育に努め、地域の環境への理解を深めましょう。
- ・ 自社の環境配慮の取組などを、インターネット等で情報発信しましょう。

### ◎環境分野5-2 環境保全活動・環境配慮

#### 【市民・事業者共通の行動指針】

- ・ 地域の清掃美化活動や、環境に関する研修会・講座等に参加しましょう。
- ・ 再生原料を利用した商品等、環境に配慮した商品の購入を推進しましょう。

#### 【市民の行動指針】

- ・ 環境問題に関心を持ち、自分ができるところを考えましょう。
- ・ 省エネルギー行動、ごみの分別や減量化など、日常的な環境配慮行動を推進しましょう。

#### 【事業者の行動指針】

- ・ 事業活動から生じる環境負荷の低減に努めましょう。
- ・ 環境保全協定の締結と遵守に努めましょう。
- ・ 環境保全活動への支援を行いましょう。



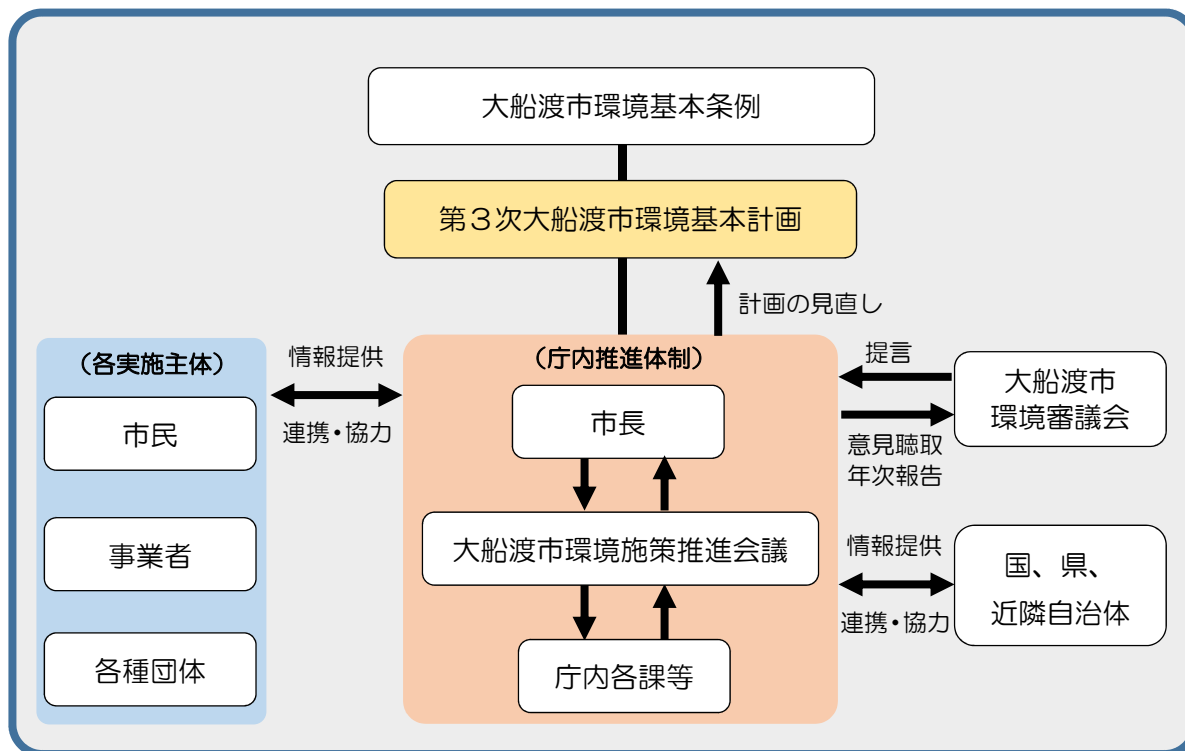
## 第6章 計画の推進・進行管理

# 第6章 計画の推進・進行管理

## 6-1 推進体制

本計画の目標達成に向け、各施策を総合的に推進するため、以下の体制で進行状況を管理します。

図6-1 計画の推進体制



### (1) 市内推進体制

本計画の効率的な推進と全庁的な合意形成を行うため、副市長を本部長とし、関係部課長等で構成する「環境施策推進会議」において、各課連携の下、総合的・計画的な観点から、諸施策の進行管理を進めます。

### (2) 審議機関

本市は、条例の規定に基づき、環境の保全及び創造に関する基本的事項等を調査審議し、市長に提言する機関として、環境審議会を設置しています。

市は、環境審議会に対し、環境基本計画の策定や変更に係る意見を聴取し、計画に反映させるとともに、施策の実施状況について報告し、意見を聴取します。

### (3) 市民・事業者等との連携

本計画を着実に推進し、効果を上げていくためには、市民、事業者、市の各実施主体が共通認識の下で、それぞれの役割を果たしながら、連携・協力していく必要があります。

本市では、各実施主体を構成員とする、環境保全の推進を目的とした「大船渡市環境保全推進協議会」や、大船渡湾の水質保全を良好に維持することを目的とした「大船渡湾水環境保全計画推進協議会」等において、情報共有などに取り組んでいることから、引き続き、連携・協力しながら施策を推進します。

#### (4) 広域的連携

本市が取り組むべき課題には、自然生態系のつながりや、地球規模での環境問題など、市域を越えた課題もあり、広域的連携を深めていくことが必要となります。

現在、ごみの収集及び処理については、大船渡地区環境衛生組合及び岩手沿岸南部広域環境組合、し尿処理については、気仙広域連合において、広域で運営しています。

計画の効果的な推進に当たり、国、県、近隣市町その他関係機関との緊密な連携を図り、適切に対応します。

### 6-2 計画の進行管理

本計画を推進し、効果的な進行管理を行うため、PDCAサイクルにより、取組の継続的な改善と推進を行います（図6-2）。

図6-2 計画の進行管理（PDCA サイクル）

